

りつめい

題字・末川 博名誉総長

October 2001

Ritsumeikan University Alumni Association

Rits
立命館大学

No.

206

立命館大学校友会報

Special #1 [特集 1]

インターネットで
校友同士もっと楽しく!

Special #2 [特集 2]

10万人をこえる受験生を迎えて
これからの入試改革の方向

輝くひと
brilliance 39

使うだけでなく
作る人にもやさしい設計を
製造現場で追い求めています。

竹内 和子さん ('97院理工)

石川島汎用機械(株) 小型過給機事業部



表紙の人



竹内 和子さん (’97院理工)

K a z u k o T a k e u c h i

竹内さんは、石川島播磨重工業（IHI）で自動車エンジンに搭載するターボチャージャーの設計を担当している。自動車メーカーから求められる性能に応じて、材料選びから、個々の部品の設計、それらを組み合わせた一機械としての仕様決めなどすべてを行う。小ぶりの機械だが、各車種ごとに違う型式のものが必要で、奥が深い。あなたの車がターボ付きなら、それは竹内さんの手によるものかもしれない。

生粋の京おんな。入社して3年間は東京の本社で設計図と格闘していた。図面に、どうにも腑に落ちない溝や突起が描かれていた。「要らないと思って省略したら現場から叱られました。加工するとき握れないじゃないか、って。作業のしやすさまで考えた設計が、ミスを減らし、製品の信頼性を高めることにつながるとわかり、製造現場を見たいと志願して、昨年4月から石川島汎用機械（IHK）木曽事業所へ出向している。

小さい頃から、どんな物でも“つくること”が好きだった。「ドーンと大きな物を扱いたくて、機械工学科に入りました。IHIでも、実は水門とか、でっかい物を作りたかったのですが、ターボチャージャーの担当になって…。勉強するうちに、自分自身を調節・制御する仕組みまで備えたターボチャージャーという機械の自己完結性に惹かれ、設計が面白くなっていった。

あたりは山と川、夜は真っ暗な空に月と星が浮かぶだけの静かな山里、長野県木曽郡大桑村。ここで本社ではできなかった経験をし、有意義な時を過ごしている。「東京ではとにかく時間がなかった。指摘された問題点をその場その場でちょっと直してすぐ返すことの繰り返しで、それを次に生かそうとする余裕はありませんでした。ここに居る間に、現場の実状に合った改善策をコスト面なども含めてじっくり考えて、来年本社へ帰ったら設計部門の人みんなにそれを伝えられるようにしたい。責任重大です。

余暇には村の人々と一緒にソフトボールやバレーボールを楽しむ。ゴルフもたしなむスポーツウーマン。「村祭りにも参加して、とても楽しかったですよ」。遊び場が少ないので飲み会もとても多いが「日本酒五合までは大丈夫」という竹内さんにとっては何のことはなさそうだ。

ここへ来て、生まれて初めてはっきりと天の川を見たという竹内さん。村のあたたかさや木曽の大自然に抱かれながら、“ターボ技術者の星”を目指している。

(写真・小幡 豊)

C

O N T E N T S

1 輝くひと 竹内和子さん

Special #1
特集13 インターネットで
校友同士もっと楽しく!

8 RITSUMEI INTERVIEW

"一所懸命"だから楽天家でいられるのですよ(笑)。

藤田陽三さん

10 りつめい誌上土曜講座

人はなぜ騙されるのか

安齋育郎国際関係学部教授

12 われら立命人

踊り、踊らせ、踊られ [1]

滝口潤子さん

13 立命館秘話

手紙・書類にみる広小路学生暮らしあれこれ [2]

清水信雄さん

14 現役学生が伝える いまどきキャンパスシーン

昨今学生の政治意識は?

15 全国校友大会のご案内

16 校友会ネットワーク

18 立命館ファミリーカードコーナー

Special #2
特集220 10万人をこえる受験生を迎えて
これからの入試改革の方向

23 立命館教学ココが知りたい

インターンシップ教育と学生の学び

24 キャンパストピックス

26 学生のスポーツ&イベント

28 INFORMATION



20

立命館大学校友会では、全国各地で、そして諸外国でも活躍する校友同士を結ぶため、インターネットを会の活動を強力に支えるツールとして位置付け、ホームページの開設やメール転送サービスの運営などを進めてきました。

これからは、一人でも多くの方にこのネットワークの輪にご参加いただき、交流の裾野を広げていくことが目標です。

インターネットで 校友同士 もっと楽しく！

未経験の方にもぜひ楽しさと便利さを味わってほしい。

活用のベテランの方には、初めての方をサポートしつつ、一層の有効利用をリードしてほしい。

こんな思いを込めて、それぞれのかたちでネットに向きあう校友の皆さんを紹介します。

海の向こうと
E-mail

初めての人と

■ この記事に関する基本用語集（超初心者の方向け）

【インターネット】

世界中のコンピュータを相互に結びつけたネットワークの総称。

【ホームページ（ウェブページ）】

インターネット上で様々な情報を掲示するための画面。閲覧時には、文書や画像、場合によっては動画や音も含んだページとして見える。

【電子メール】

コンピュータネットワークを介して相手に送られる、電子化された文書。

【メーリングリスト】

リストに登録している人全員に、同じ電子メールを同時に配信する仕組み。共通の話題をもつ仲間同士での利用が多い。

【マウス】

画面上のある特定の位置でコンピュータに命令を伝えるための道具。机の上で前後左右に滑らせるように動かし、命令を出すべき位置まで移動させる。

【クリック】

マウスについているボタンを短く一押しする（押し続けけない）こと。これを受けて、画面上の各位置に割り当てられた命令が実行される。



何はともあれ 校友会ホームページを見てみよう

「最近校友会報を開いても、何かにつけてインターネットだ、ホームページだと…。それが一体どうしたのかね」とお思いの方、あるいは「面白そうだが、コンピュータはちょっと…」と躊躇されているあなた。百聞は一見に如かず、とにかく体験してみてください。

そんな未経験校友を代表して、佐々木英太郎さん（'51経済）がインターネットでの校友会情報閲覧に初挑戦してくださいました。



佐々木英太郎さん
（'51経済）

長年にわたり中学校教諭を務めた。退職に当たり記念品としてパソコンを贈られたが、達筆なのが災いして（？）書道の仕事ばかりが舞い込み、パソコンに向き合うには至らなかった。しかし「インターネットでは、欲しい情報を即座に手にいれたり、きれいな画像も見られるそうですね」と、興味は十分。現在、教育なにわ会（大阪の公立学校校長会）監査役。立命館大学大阪私学校友会副会長。

まずは校友会 トップページを（画面①）

●佐々木 では、この、東京の若い人たちの記事を見せてください。



①校友会トップページ

●立命館大学のトップページを開いて、左側のメニューの「校友 ボタン」をクリックすれば、校友会のページへ入れますよ。各県校友会の活動記録や、校友諸氏の活躍の知らせがたくさん出ています。読みたい記事の見出しにマウスの矢印をもっていったらマウスの左ボタンを一度押せば、内容が表示されるんです。



●佐々木 矢印は、どうやったら動くのですか？

●マウスを机の上で滑らすように動かすと、それに応じて矢印がついてきますよ。

●佐々木 校友会本部に登録されている団体の一覧ですね。こんなにたくさんあるんだなあ。



③各校友会・グループリスト

各校友会・グループリストのページ（画面③）

●佐々木 ほう、東京の若い人たちは盛り上がっているんですね。この写真は宴会風景ですね。

●東京に限らず各団体の総会等の様子を紹介しています。当日参加できなかった方はもちろん、他の会の動向を知っていただく意味でも、多くの方にご覧いただきたいです。もちろん今後の予定や連絡先も載っています。東京校友会メンバーが運営しているホームページもあるので、画面左側の「支部・グループ紹介」ボタンから入ります。



②東京新人歓迎会「再会の集い」報告ページ

東京新人歓迎会「再会の集い」 大成功！のページ（画面②）

●青字で表示されているのは、ホームページを持っていてる団体です。東京校友会という文字のところにマウスの矢印を動かしてみてください。

●佐々木 あれ、うまくいかないね。

●ボタンは押さずに軽く滑らせてください。大丈夫、すぐに慣れますよ。はい、これが東京のトップページです。

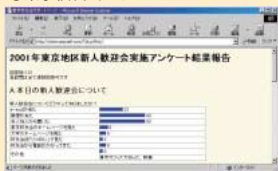
(画面④)

●佐々木 アメフトですか。きれいな写真ですね。

●「ニュース」を開くと、新人歓迎会参加者に対するアンケート結果なども出ています。電子メールやホームページで歓迎会開催を知ったという人も少なくないです。(画面⑤)



④東京校友会トップページ



⑤新人歓迎会アンケート結果

●佐々木 なるほど、そういう時代ですか。我が大阪私学校校友会でも参考にしなければいけませんね。

●そうそう、千葉県校友会東葛ブロックで、おもしろい試みをされているので覗いてみましょう。

東葛ブロック 夢インターネット サロンのページ (画面⑥)

●毎月一回、中高年の校友十数名が集まって、インターネットの勉強会をしていらっやいます。ホームページ編集について学びながら、情報交換をさ

れているようです。会員の方が各自のホームページも公開していて、旅行記あり趣味の話あります。

●佐々木 皆さん、熱心ですね。定年後の楽しみが増えていることです。私の周りにもど

うやらパソコンを習いに行

っているらしい人がいます

が、ひそかにこっそり行か

れる方もありましてね。堂々とみんなで楽しくや

ればいいですね。



③夢インターネットサロンのページ

経済学部同窓会 ホームページ (画面⑦)

●学部同窓会のページもあります。卒業なさった経済学部の人を見てください。うか。では、どうぞ。

●佐々木 今度はうまくいかな。少しは慣れてきたようです。矢印を動かして、手の形が変わったらマウスの左ボタンです。ああ、できました。よかつ



たよかつた(笑)。もっといろいろ見てみたいですね。

●この後、校友会関連の様々なページへ飛び、知りた

い情報の検索なども少し体験なさいました。



⑦経済学部同窓会トップページ

■佐々木さんの感想

インターネットがどう

いうものか話には聞いていましたが、実際の前にして、食い入るように見つめてしまいました。ページを作るところまでいなくても画面を見ることだけでもできれば、ずいぶん世界が広がります。

そうですね。自分でページを開かれた時は、子供の頃初めて鉛筆を削れた時のように嬉しかったです(笑)。この新しい道具の自身はいまひとつわからなくても、これを上手に使えばもっと校友会活動の可能性を広げられそうだしということも実感できました。遠い距離を歩いていなくても心の通い合いができるのです。

各世代ごとに、自分たちはこの道具とどういった関わり方ができるのかを考えればよいと思います。我々の世代の人には、こういうことができるのだとまず知っていただきたい。そして、若い人に任せる部分、一緒にやってくれと頼む部分を、それぞれの人があるいは団体で考える。

いずれにしても、人が機械に使われるのではなく、各自のペースで、無理強いもせず、がいいですね。自分も相手も喜び、その結果あたたかい交流を生み出せる、そんな道具だと思いました。



校友会ホームページでは

- 校友会本部や各団体の動き、行事予定や報告が一目でわかる。
- 世話役の人にとっては行事計画の参考に。
- 初めての人には、校友会って何するの？がよくわかる。
- 掲示板に書きこめば、宣伝できる。
- もちろん大学や学生の動きもわかる。



距離も時間も超えられる 電子メール

若手の人々の間ではかなり普及しつつある、電子メール。速くて時間を選ばない、国境なんて何のその便利なツールです。メールで友情を繋いでいる人たちが、あちこちにいます。

「いつでも会える」を支えるツール メーリングリスト

中郷浩史 (94経済)



私が「立命館・UBCジョイントプログラム」に第一期生の一人として参加し、カナダ・バンクーバーにあるブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)で学んでから、ちょうど一〇年が経ちました。その頃はまだインターネットはおろかコンピュータ自体がどこにもあるというものではなく、英文レポート提出にあたっては、パソコンが数台だけ置いてある部屋で順番を待つこともよくありました。

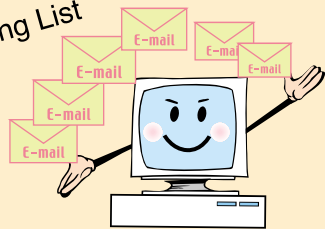
一期ということで何事も初めてでしたので、毎日不安や問題に直面しながらの八月月だったと、いま改めて懐かしく思います。その分、私たち一期生のつながりは他期よりも強力なもので、絶えず連絡を取り合ってきました。

特に電子メールの活用は非常に効果的で、先日、この夏行われた一〇周年記念行事への同期生の出欠をとうとう知り得る限りのメールアドレスを集めたところ、卒業して八年が経とうとしているにもかかわらず、一〇〇人中七〇名近くのアドレスが集まりました。私たちは、これを機にUBC一期生のメーリングリストをつくり、近況を知らせ合っています。ご存知の方も多いでしょうが、メーリングリストに宛てたメールは、登録してい

るメンバー全員に向けて配信されます。届くメールを開いていくと、各自が国内外を問わず、様々なジャンルで大活躍しているのが手に取るようにわかります。皆のアドレスをメーリングリストという形にすることによって、UBCでの日々と変わることのない連帯感が持続し、また、リストに新しく追加されたアドレスとその持ち主である友の名を目にしたときには、全員が同時に、新たな懐かしさや思い出を増やしていくことができるのです。

同期が様々な場で頑張っているのだから、自分ももっと頑張らないと、という気持ちにさせてくれるこのメーリングリストは私たち一期生の宝であり、共に苦労や喜びを分かち合った証といえます。

Mailing List



これから更
新・拡大をして
いき、いつでも
どこでも、一期
生みんなと連絡
が取り合える、
そんな環境を作
っていきたいと思います。勿論、私たちは電子メールの交換だけで満足するわけではあり
ません。面と向ってみんなと会って話せるのが一番です。その下地を常に保っておくための便利なツールが、このメーリングリストなのです。

(伊藤忠商事 株 勤務)

来日時にもあればよかった
インターネット

Muhammad Hafnan (99院理工・博)



一九八九年四月、私は来日しました。トリサクティ(Trisakti)大学機械工學理工學部卒業後、インドネシアの科学技術応用庁に勤めていて、その間、国費留学生として、日本で内燃機関研究をする機会に恵まれたのです。

日本語の勉強から始め、熱心かつ厳しい指導で有名な西脇教授の下、立命館大学の修士、博士課程を無事修了し、九九年に工学博士としてインドネシアに帰国しました。

修士課程修了時、私の国の事情により、突然の国費ストップというアクシデントがありましたが、日本で勉強を続けたいという熱い思いで大変な生活を続けました。立命館大学の優れた教育制度と最新の環境の中で、国際的レベルの教授陣に教えを受けて研究に打ち込みましたことは、私にとって大きな喜びでした。

現在私は、元の職場に戻り勤務する傍ら、トリサクティ大学で、一先生として内燃機関の授業をしています。今後も日本での経験と立命館大学での研究を生かし、両大学の間にますます友好関係が築かれるよう努力したいと思っています。

そのために有効なのは何と言ってもインターネットです。友人とは簡単に電子メールでやりとりができ、立命館大学の動向もホームページを見れば一目瞭然。私の来日当時にはなかったものですが、今の便利さは夢のようです。この原稿の受け渡しもインターネット経由です。インドネシア校友会の皆さんとの連絡にも欠かせないものになっています。日本も私の国も島国ですが、インターネットがあれば「海外」を意識する機会はずっと少なくなるでしょう。

お久しぶり！が嬉しい Ritsumeiメール転送サービスを利用して

この春から運用を開始し、会報でもご紹介してきたメール転送サービス。旧友との思いがけない再会や、新しい出会いが期待できる楽しいツールです。利用者の声をご紹介します。

高齢校友諸氏も

どんどん登録しましょう！

松本臣善（57歳）



社会保険労務士の業務上の必要からパソコンを購入して三年少々、昨年廃業し、兵庫から岡山の片田舎へ

帰郷、晴耕雨読の毎日で暇を持て余すのではとインターネットの勉強を初めて九ヶ月、全て独学のためまだまだ駆け出しで恥ずかしい限りですが、私の挑戦をご紹介します。

去る五月に、既卒者向けに転送サービスが始まったと同時に登録手続きをし、「これで懐かしい校友に連絡がとれる」と早速「卒業アルバム」を開いてA君の氏名を入力、検索。しかしコンピュータの答えは「該当者はありませんでした」という冷たいものでした。B君そしてC君も同じ。他に検索方法が？早速、校友会へメールで質問。ありました、他の方法が。学部を入力すればその学部の会員番号順登録者名簿が表示されるのです。

ヤッター、エッ、ホント、驚き！名簿が画面に表れました。何と私の氏名が上から二番目。しかも一九五七年卒業者では私以外に一人も登録者はいません。幾ら「卒業アルバム」で氏名検索しても出て来ない筈です。これには寂しくなりましたね。「六八歳でこんな挑戦をしているのは頭がおかしいのだから？」と。だって面白いんです。インターネ

ットが無ければ今の私の生活は本当に味気ないものになるだろうと思っております。

従って私は、特に高齢の校友に呼び掛けたのです。今の時代、自分で所有してなくても家族の誰かはパソコンなりキーボード携帯電話を所有しています。それを利用しましょう。せっかく校友会で活用システムを作ったのです。直ちに登録して懐かしい校友と旧交を温めようではありませんか。

早くRitsumeiメール第一号が読みたいです。（元トヨタカローラ兵庫（株）総務部長・社会保険労務士）

思いがけない贈り物をくれた
Ritsumeiメール転送サービス

川口知子（旧姓：文平・'92経営）



校友会報「りつめい」204号のトピックス「ずーっと使えるRitsumeiのメールアドレスを校友に無料で発行します」を見て、夫婦（夫は川口貴史・'92経営）で「メール転送サービス」に登録することに即決しました。理由は「メールアドレスに『Ritsumei』ってついたら、なんかカッコ良くない？」という単純明快な気持ちから。立命に対する愛校精神は普段から人一倍な二人。転送サービスオープンの日を、今か今かと待ち侘びていました。

いざ、オープンになり登録してみると、思いも掛けない「贈り物」が…。久しく会っていない遠く離れた友人から、メールが届いたので。彼はゼミの友人で、今は東京在住。元気に、そして幸せに暮らしていると近況を伝えてくれました。突然の旧友からの便りは、本当に嬉しいものです。

「Ritsumei」という文字に魅せられ登録して手に入れたメールアドレスが、旧友からの便りを運んでくれた！この「サプライズ！」に魅せられて、立命卒の友人や会社の先輩に目下地道に宣伝中です。

この「メール転送サービス」はより多くの校友の方が登録されてこそ、更に価値が上がります。一刻も早く登録された方から、友人より懐かしい便りが届くかも！皆様に、同窓の方との心温まる交流がありますように…。

最後に、「メール転送サービス」を開設して下さった立命館大学校友会に、心より感謝を致します。更に転送システムの機能がアップし、一層充実したサービスとなりますよう期待しております。

卒業しても尚「卒業生に」贈り物を届けたいという我が母校・立命館大学を更に誇りに思います！
（富士ゼロックス（株）勤務）

◎ 校友会本部からのお知らせ

* メール転送サービスの利用方法は「りつめい」205号（本年7月号）で紹介しています。一人でも多くの方に登録いただきますようお願いいたします。

* 各団体のホームページを立ち上げられた場合は校友会本部へ一報いただければ幸いです。リンクを張らせていただきます。

<http://www.ritsumei.ac.jp/kic/741/>

藤田陽二さん

■前・京都府立聾学校校長「68院文

漢文教師から 「手話のできる校長」に

この三月まで、日本で最も長い歴史を誇る京都府立聾学校の校長を務められ、宿願だった校歌を作ることに尽力されたそうです。

もう三年前になりますが、高等部の軟式野球部が府大会の初戦で接戦をくりひろげたことがあります。試合の最中に部長が慌てて、「勝っても歌う校歌がない」と。結局惜敗してしまいました。が、校歌というものは実に大切だと改めて感じました。子供たちの日々の生活と共にある歌、そしていつまでも思い出に残る歌です。校歌はこれがないなんて寂しいじゃありませんか。よし、作ろう、と決めました。

生徒たち、先生方、保護者の方々に呼びかけて、どんな歌詞がいいかと意見を募りました。子供たちが心の中に育みたいと願っているのは「夢・勇気」だろうということで、これをキーワードにして、作曲は『いぬのおまわりさん』などで知られる子供

の歌づくりの第一人者、大中恩先生にお願いしました。いわゆる校歌らしい歌ではなく、わかりやすく、元気の出る歌です。多くの皆さんとの巡り合わせのご縁が実を結び、良い歌ができて嬉しいです。

この校歌は今年春の選抜高校野球大会開会式の際、甲子園球場で披露されましたね。

ええ、もう本当に感動しました。この歌ができあがるまでの様々な出来事を思い、また、定年退職を目前にしていまして、これから三年間の教員生活を思い、あの時の感慨をうまく表現する言葉が見つかりません。

創立以来二三年間、ずっと校歌がなかったということにも驚きましたが、聴覚に障害のある子供たちがこの歌を喜んで歌ったということ、認識を新たにしました。

作曲して下さった大中先生も、初めは「そもそも、聾学校の子供たちに歌が歌えるんですか？音楽の時間があるのですか？」とおっしゃったんですよ。実は幼稚園、小学部といった低年齢期の子供たちは、日本語の基礎をまず音声言語で徹底的に勉強します。聞き取り、読み取り、発語ですね。音楽の時間もあった、楽しく歌を歌い、器楽演奏もするんです。年齢が上がっていくと、手話も交えてのことになるのですが、大中先生は学校へお越しになり、明るく可愛い子供たちが音楽に親しむ様子をご覧下さいました。そ

して子供たちにびったりの素晴らしい曲を一気に書き上げて下さったのです。半年経った今では、子供たちはすっかり覚えて折にふれて口ずさんでいるそうです。

聾学校校長ご着任時は、「初めての手話のできる校長先生」ということで話題になりましたね。これまで障害児教育一筋だったのですか。

教員としての初めの四年間と、仕上げの九年間が、偶然にも聾学校でした。大学、大学院とずっと中国文学を学んできたものですから、京都

"一所懸命" だから 楽天家でいられるのですよ(笑)。

1940年京都市生まれ。鴨沂高校、京都学芸大学(現・京都教育大学)を経て、68年立命館大学大学院文学研究科東洋思想専攻修士課程修了。同年より京都府教員。聾学校、山城高校、洛北高校で教鞭をとり、聾学校校長を最後に本年3月定年退職。9月より中国陝西省の西安外国語学院客員教授。

京都府立聾学校 校歌
「夢・勇気」 藤田陽二 作詞

一 花は舞い 鳥歌う きぬかけの路
われら わこうど 夢ふくらませ
友と 語らう 楽しさよ

二 流れゆく歴史の ほこり 高らかに
われら わこうど 勇気を湧かせ
大きな 夢を 育もう



横 顔

ふじた ようそうさん

藤田さんと立命館大学との直接の出会い、京都府立鴨沂高校のバスバンド部員だった頃に遡る。広小路学舎と鴨沂高校が隣同士だったため、大学の応援団吹奏楽部の人員不足を補うアルバイトで野球の試合によく出かけたのだ。硬式野球部が全国大学野球選手権大会に出場した折にも神宮球場へ同行した。ガクラン姿の応援団員に挟まれて、夜行列車で東京へ。丁重に扱われたのを憶えている。



大学院進学にあたり、師匠から「立命館へ行ったらどうだ。白川静先生をはじめ優れた先生方がいらっしゃるし、本もたくさんあるぞ」と勧められた。二年間の大学院生活はまさに密度の濃いものだった。白川教授の講読演習では、ただ呆然と講義に聞き惚れた。そして一字一句たりともないがしろにしない錚々たる教授陣や先輩とのやりとりの中で、学問の厳しさを生きていること何たるかを徹底的に教えられた。人との邂逅、立命館との出会いがいかに大きかったかを今しみじみと思っている。「もちろん、まず酒が飲めなければだめだ、なんて話も聞かれましたがね（笑）。立命の中文はすごい。大したところで学ばせてもらったと思っていますよ。普通高校の教員時代には、私の話から中国に興味を持った生徒がいれば「立命館はどうだ」と送りこんだりもして、まさに母校という思いです。

前を向き、挑戦を続けた第一の人生、それあってこそ中国での第二の、いや、本当に藤田さんらしい人生。これらの土台が立命館である。

手話は、最初の四年間に身につけた。授業は口話ですが、それ以外の日常的な意思疎通のためには手話が必要でしたから。それが二〇年ぶりに豊学校へ帰って役立ちました。

今思えば、漢文を学んだことは豊教育にどこか通じるころがあったかもしれない。漢字は表意文字です。それぞれの文字の意味や成り立ちには大きな背景

府教員としての初任校が豊学校だと分かった時には驚きました。豊学校がどこにあるかさえ知らなかったんですから（笑）。でも、ここでの経験で、教師として大きく目を開くことができました。後半の二年間は、高等部で、聴覚だけでなく他の障害も併せ有する子供たち八人の担任になりました。漢文を専攻していた教師が理科も算数も、おまけに一人ひとりプログラムが違う。ようやくれたなあと、思います。この時、個々の子供に応じた教育の大切さ、難しさを教えられました。その後、山城高校、洛北高校で二〇年ずつ国語教師をしました。一クラス五〇人近い。それでも集団でなく一人一人を見ようとする気持ちが持てたのは、豊学校での経験のおかげですね。

第二の人生に胸ふくらむ

ところで、この秋から中国での教員生活を始められるそうですが。

はい。陝西省の西安外国語学院、日本で言うところの外国語大学ですが、ここ

があります。ですから中国文学の研究においては言葉の一つひとつをまことに丁寧に扱います。豊教育も言葉の教育が中心なので、子供たちと話す時、あるいは手話通訳をする時の「語彙選択」がとても重要です。手話であっても、話す相手に応じて使う言葉を適切に選ぶことが必要なのは同じなのです。その人の年齢や学習歴、生活環境などを考えて手話を組み立てていくこと。これは言語の勉強そのものです。

「障害児教育は教育の原点だ」と言われます。実際は簡単ではないことだけに子供たち、保護者の方々も真剣で、まさに「一所懸命」。この言葉は、現在では「一生懸命」と転用されることも多いですが、一生じゃなくて一所、今ここで命を懸けるほど精一杯のことをすれば、明日がひらけるのだと、豊学校で教えられました。

の日本語学部の学生に客員教授として日本語を教えることになりました。今から一七年前になります。京都府と陝西省とが友好関係を結んだ関係で教員の相互交流制度ができ、一年間この学院で教えたことがありまして、その時のご縁です。民間外交を担う一人として、先人のかけた橋をより強固にするために少しでもお役に立てればと思います。と言うと格好いいですが、高校生の頃に漢文の世界に惹かれて以来、ずっと憧れているんですよ。中国に。男のロマンと言うんでしょう。身勝手ですかね（笑）。五年ほどは西安に居たいと言ったら、家内も「仕方ない、ついて行きましょう」と言いました。

素晴らしい「第二の人生」ですね

漢文に対する情熱が、マグマのごとく湧き出て来ましてね。これからが本当の人生ではないかと思うほど楽しみです。詩文に表れる情景をよく自分なりに思い描くのですが、やっぱりこの目で見たいです。ずいぶん変わってはいらぬでしょう。私は杜牧という詩人を研究していましたが、「彼がこの丘に登ったんだなあ」と思うだけでも楽しいじゃないですか。

中国ではカルチャーショックや困ったことも起きますが、「これがこの国だ」と思えばいい。人からよく楽道家だと言われます。先程も言いましたが、まず目の前のことを「一所懸命」やる。これが私の楽観主義です。今日何もしないで、明日は明るい日だとかいうことにはなりませんからね。

立命館の中国文学研究は現地でも評価が高く、私は胸を張れます。立命の修了生として、これからの人生もしっかり歩んでいきたいと思っています。

（聞き手 安達正康広報委員）

人はなぜ騙されるのか

立命館大学国際関係学部教授 安齋 育郎

■あんざい・いくろう

一九四〇年生まれ。六九年東京大学大学院工学系研究科原子力工学専門課程博士課程修了。工学博士。八六年立命館大学経済学部教授として着任。八八年から現職。国際平和・ノーシム館長。専門は放射線防護学・平和学。現代非合理主義批判の論者も多い。

「超能力」「心靈現象」の類に

単純に心ひかれるあなたは危ない。
自分の人生を生きるための主体性、
自分なりの価値観を失ってはいませんか。

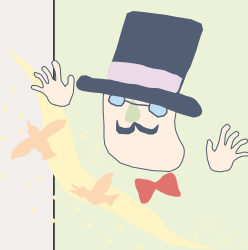
「科学の時代」に横行する「非合理」

世の中、「騙しのテクニック」が横行しています。科学の時代と言われながら、「超能力」や「心靈現象」の番組がひっきりなしに放映され、多くの人々が「オカルト」に心傾けています。私は一九九四年九月、オウム真理教の『ヴァジラヤーナ・サツチャ』第二号誌上で、「超能力批判の急先鋒」として批判されました。教団幹部は教祖の空中浮揚を「超能力」と断じ、サリン製造の実行犯は「アストラル音楽は神の声」と書きました。そうした教団からすれば、「オカルト」を科学の目で解明している私は「不都合な人間」だったでしょう。差出人不明の箱状配達物が玄関先に置かれたり、連夜の無言電話攻撃があったり、なかなか厄介な体験を強いられました。

しかし、「超能力」を信じている学生諸君は、意外に多いのです。立命館でも六―七割の学生諸君が「超能力」の信奉者です。それは、科学的・合理的の思考態度の欠落の裏返しであり、私



「スプーン曲げ」の超能力マジックを演じる筆者。マジックは中学1年以来的の趣味で、自然科学概論の講義でも超能力にしか見えないようなマジックで学生を煙に巻き、「なぜと問う心」を刺激する。



は危ういものを感じています。

昨年二月、パンタ笛吹著『裸のサイババ』という本が出版されました。サイババは「神の化身」と呼ばれるインドの聖者で、何百万という信者をもっています。空中を素手でまさぐると聖なる灰「ビブーティ」やネットワークが出現します。世に言う「物質化現象の超能力」です。しかし、それが単純な手品であることは、私も、「ジャパン・スケプティクス（超自然現象を批判的・科学的に究明する会）」の機関誌などで解明してきました。笛吹氏の著書は、タネが丸見えのカラー写真付きで手品を徹底的に暴露しました。

それどころか、この本は、サイババの凄まじい「幼児虐待」の実態も暴露しました。「クンダリーニのエネルギーを調整して、より高い霊的存在になるため」といった説明で、一六カ国二〇〇人以上もの幼児を肛門性交やオラル・セックスの犠牲にしたというのです。本には被害者の証言が多く記録されているので、説得力があります。ユネスコも、サイババ教団と協力する

予定だった教育関係の国際会議プロジェクトをやめる声明を出しました。

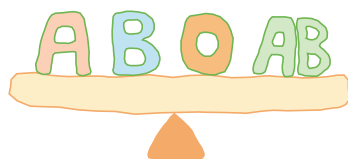
笛吹氏は、一九九四年にはサイババの「超能力」に幻惑され、サイババ信仰を賛美する本を書いたのですが、その後、余りにひどいインチキ超能力と幼児虐待の実態を前に、罪滅ぼしの意味もこめてこの本を書いたのです。

「神の化身」なる人物に自らの主体性をすっかりと預けてしまうと、自分で考えることをやめ、挙句の果てには自分自身をも欺いて、とめどもない騙しの世界に足を踏み入れていくのです。

「血液型性格判断」遊びの恐ろしさ

科学的に根拠のないものを無批判に信じる傾向は、残念ながら広く見られます。例えば、「ABO式の血液型と性格の関係」についての俗信も、その一つです。血液型にはe式、q式、s式、MNO式など六〇種類以上もあって、すべての血液型が二人の人間の間で完全に一致する確率は六千億分の一以下だということです。基本的には「人は皆それぞれだ」ということなのです。それにもかかわらず、日本人はABO式で四つに分けて遊ぶのが好きのようです。カラオケ・ソングに岡本圭司作詞、ペーヨー・ペン鈴木作曲の「演歌血液ガツタガタ」という歌まであります。

ABO式の血液型というのは、抹消血液中の赤血球に乗っている糖の構造による分類ですが、赤血球の糖の構造で性格が一義的に決まるなどということとは理論上もあり得ないことです。日本人を対象とする一万人規模の調査結果でも関連は否定されています。それにもかかわらず流行したのは、日本人はたいてい自分のABO式の血液型



知っていること、人間何となく四種類ぐらゐに分類できそうな気がする。ことによるものでしょうが、一九六〇年代に出されてミリオンセラーとなった能見正比古著『血液型性格判断』の影響も無視できません。七〇年には「うちの営業部はO型の人しか採用しない」などという企業経営者も現れ、八〇年代には血液型でクラス分けをする保育園まで登場しました。ある大学の調査では、「血液型と性格は関係がある」と信じている学生は差別意識が強い傾向が見られるということでした。その人間の実体を見ないで、血液型というレッテルで人間を決めつける思考法が、「朝鮮人だから」とか「黒人だから」とかといった反人権的な決めつけに結びつき易いのではないかと考えられています。

ABO式の血液型がラントシュタイナーによって発見されたのは一九〇一年ですが、日本人とドイツ人を比べると日本人はドイツ人よりB型が多く、ドイツ人は日本人よりA型が多いことが分かりました。フォン・デュンゲルが動物の血液型を調べたところ、チンパンジーのような進化の進んだ動物にはA型が見られるが、フタなどはB型だという訳で、A型が多いほど優れているという主張が民族優生学の分野で主張されました。これは、「黄色人種より白色人種の方が優れている」として「黄禍論」を主張していたドイツのヴィルヘルム二世にとつては、好都合

な論でした。ABO式の血液型は、発見の直後から、民族差別の尺度となったのです。その国にやがてヒトラーが登場し、差別的民族観を極端に研ぎ澄まし、ユダヤ人、ソ連人捕虜、黒人、「ジプシー」、身体障害者、遺伝病患者、アルコール中毒患者などを大量に死に追いやっていたのです。欧米で血液型遊びをやるうとする、と「ヒトラーの流れをくむ民族差別主義者」と見られかねません。

危うい日本人の靈魂観

また、「霊」に弱いのも日本人の特徴です。悪霊の祟りとか、水子の不成仏霊など、よく聞く話です。しかも、日本人の多くが「霊」という考えは仏教に由来すると勘違いしています。が、釈迦は霊を説きませんでした。釈迦仏教の特徴は「靈魂不説」です。知人の僧侶がお盆の法話で門徒たちに釈迦仏教の「靈魂不説」の立場をじゅんじゅんと説き、話し終わって控えの間にいたら、法話を聞いた老婆がやって来て、「和尚さん、霊が無いなんて悲しいことを言わないで、いま嫁に苛められているので、死んだらぜひ化けて出たいんですから」と告げたというのです。「宗教と科学」というようなテーマで仏教界からよく講演を頼まれるご縁を利用して、「霊についてどのように説いているか」というアンケート調査を実施したところ、「霊はいかなる意味においても存在しない」（浄土真宗仏光寺）から「霊は実体をもった存在である」（天台宗延暦寺）まで一八〇度異なる見解が寄せられました。その間にあって「三宗一四〇派以上とも言われる仏教宗派がいろいろな靈魂観を説いているので、日本人の靈魂観は定

まらず、悪質な靈感商法が入り込む隙ができたでしょう。科学の国には珍しく、被害は何百億円にも達しています。

「騙しの罠」を開けぬために

人間が騙しの世界にいざなわれる大きな入り口が二つあります。

一つは「思い込み」です。自分がこの目で見ただから確かだ、あの人が言うことだから間違いない、写真に写っているんだから疑いようがない——これらは、皆、思い込みです。人間の感覚がいかに頼りないか、人間がいかに簡単に本当でないものを真実と思い込むか、手品を四七年間も演じてきた私にはよく分かります。何事にも批判的な目を向けること、これが大切です。

もう一つの落とし穴は「欲得」です。楽して金儲けをしたい、食ったまま瘦せたい、切らずに癌を治したい——こうした欲得すくろの生き方は旨そうな話にすぐ騙されます。数年前、名古屋で女性の心霊手術師が逮捕されました。癌の不安をもつ多くの企業経営者を相手にインチキ心霊手術を施し、逮捕前の一年間に数千万円を騙し取っていました。鶏の皮で作ったゴルフ・ボール大のタネに豚の血を染み込ませた脱脂綿を仕込んでおく方法で、「パーミング」という簡単な手品の手法で、体内から癌を取り出したように見せるパフォーマンスを演じていました。

自分の人生を生きるのは、自分自身です。怪しげな超能力や占いや教祖に主体性をすっぱり預けてしまうような生き方ではなく、科学性を土台に据えて、自分なりの価値の実現をめざして社会に積極的に働きかけながら主体的に生きる——そうありたいものです。



踊り、踊らせ、踊られ〔1〕

滝口潤子 ハワイアンフラインストラクター '81文

自分を表現する手段として私が熱心に取り組んでいるのは「踊る」こと。現在は月曜日から金曜日までハワイアンフラを教えていると同時に、習い続けてもいます。週末には余興で踊る機会も多く、それこそ毎日心踊らぬ日はあっても身体が踊らぬ日はありません。

初めてフラに出会ったのはもう二〇年以上前のハワイのポリネシア文化センターの体験レッスンですが、その時は今のように生活の一部になるとは夢にも思いませんでした。東京に居た頃に、叔母がフラを教えている関係上習うチャンスがあり、踊ってはみたものの、まだまだ本気にはなりませんでした。

じゃあ、何故こんなにフラにのめりこんでいったかという点、それなりの年齢になり、表現手段としての奥の深さが少しずつわかってきたからかも知れません（ま、単純に踊っているといやなこと忘れ楽しいってのもあるんですが）。師匠たる叔母や仲間のおかげでもあります。

今教えている生徒さんの最年少は高校生ですが、幼稚園くらいの子供ばかり集めた教室も持っていたと思っています。これはこれからの夢の一つの中で現実に近い方かな。

ハワイアンフラというと、あゝ、あの腰振りダンスね、と思われるかもしれませんが、そういう方がイメージしているのはタヒチアンダンスだったりします。フラは

一つ一つの動きに言葉があり意味があり、まるで手話のように表現する優雅な踊りです。技術的なことももちろんですが、踊り手の精神的なもの、品性も大切なように思います。そして、踊る為には歌の意味をよく理解するということ

が大前提です。

当然ハワイ語を勉強しなくちゃ、となり、

ウクレレだって弾きたいワと思い、歌の背景や歴史や文化が知りたくなり……と、どんどん深みにはまっていきます。でも、面白いですよ。青い海青い空だけでないハワイ。伝えたいことはいっぱいあります。やればやるほど知りたいことがどんどん増殖していくのです。

増殖の一環としてハワイアンバンドのメンバーにもなりました。初コンサートも下手ながらメンバーに助けられて、無事終了。今後は……、とこれまた夢は膨らみっぱなしです。ただメンバー七人中六人までが各大学音楽系サークル出身で私だけが立命館大学落語研究会出身……ハンデ（？）がある分、頑張らなければ。

きつとこれを読んでいる落研の諸先輩方は「なんで、ぼん太がハワイアンやってんねん？」と驚いておられるんだろうなあ（学生時代、立の家ぼん太の名で高座に出てました。今でもやっているのでしょうか、あの恐怖の「全体練習」。老人ホームの慰問でうまくいなくて泣いたことも含めてあのクラブで培ったいるおんなコトが今になって役立っていると思います。周りの人に随分助けられてもきました。

さて、三年前に帰ってきた故郷愛媛松山でも、校友会の皆さんにお世話になっていきます。校友会の場で文字通りフラを踊ったり、メンバーを「踊らせ」オドッテもらったり、逆に「踊らされ」て大役を引き受けちゃったり!! ただ同じ大学出身というだけの老若男女が利害関係ナシで笑いあい歌い飲み騒いで過ごす一時、それがすっかり病みつきとなり今では同じ幸福を一人でも多くの校友と分かち合いたいと思うようになりました。

次回はこの楽しい愛媛県校友会でのコトをご紹介しますね。

（次号に続く）

立命館 秘話

a secret story

11

手紙・書類にみる

広小路学生暮らしあれこれ〔2〕

■アルバイトの数々

大方の学生が必要に迫られてアルバイトをしていたことを前回書き
ました。私もよく、学生課や、当時百万遍にあった「京都生相談所」の
前に夜の明けないうちから並び、職を求めました。

通勤・通学がセットになった定期券（写真①）を携え、ギリギリと
ブレーキの音を響かせる市電（写真②）に乗って出かけました。一番
長く働いたのは工業用マシン製造の「大谷マシン工業所」、寺町仏光寺
を下がったところにありました。日給三五〇円、リヤカーにマシンを
乗せて、株式会社ワコールの前身「和江商事」など、各所のお客様へ配
達に回りました。最後の給料袋の表に記された「大へん気持ちよくお
つき合い出来て喜んでます」との所長の一筆（写真③）は、いま説
んでも嬉しいものです。他に友禅染の工場での作業や、祭りの行列や
ら映画のエキストラ、祇園のお茶屋の大掃除の手伝いなどいろいろや
りました。そして四回生の時には、旅館に住み込んで雑用をしながら
通学するようになっていました。ともかく学費を稼ぎ、京都のこと社
会のことを知るための厳しくも楽しい場がアルバイトでありました。

■クラブ・余暇・講義

それでも、ただ仕事に追われていた訳ではありません。ワンダーフ
ォーゲル会に入り（写真④）は第一回総会案内状、比叡・琵琶湖・若狭
などへ行きました。当時はこれが体育の単位にもなったのです。一方
街中での遊び場は「京都の新宿」と言われた四条大宮や、西陣京極など
でした。そぞろ歩きの下駄の音と鼻緒の感覚は忘れられません。

最後に学業関係の書類も少しだけ。成績証明書（写真⑤）です。同
世代の方は先生方のお顔や講義風景を思い起こされるでしょう。若い
皆さんの時代になると開講科目はもっと細分化され、数もずつと増え
ていることでしょうね。こんなところにも学問の進歩と立命館大学の
発展の様子が垣間見えています。

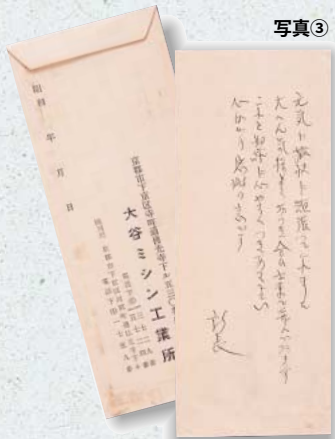
写真①



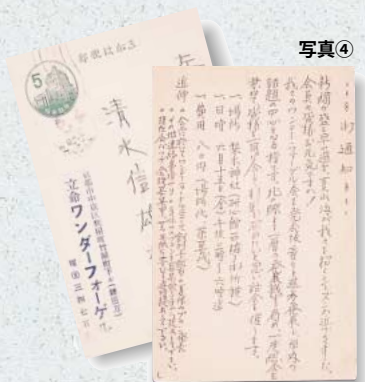
写真② 加藤幸弘さん（'77理工）提供



写真③



写真④



写真⑤



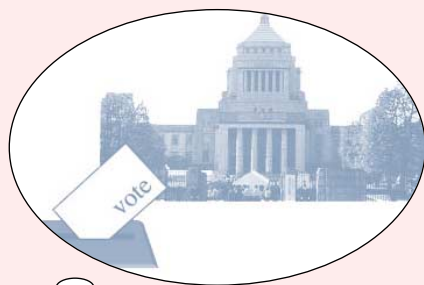
群馬県校友会副会長 清水 信雄（59法）

昨今学生の政治意識は？

NEWS立命通信社

文・市原佳奈（産社3年）

NEWS立命通信社は、UNN関西学生報道連盟に加盟する報道サークルです。<http://www.unn-news.com/news-ritsumeiji/>



大学生の多くが、在学中に十代から二十代となり、選挙権を得る。「若者の政治離れ」が進んでいるといわれる今日、立命生の政治意識はどうなっているのだろうか。選挙というひとつの政治の動きを通して、学生に話を聞いた。

七月二十九日に行われた参議院選挙。事前に行ったアンケートでは、七十二%の学生が七月に参議院選挙があることを知っており、四八%が「投票に行く」と答えている。「投票に行かない」学生の理由としては、数人から「興味が無い、めんどろだから」との答えも聞かれたが、一番多かったのは「住民票を移していないから」で「もし移していたら投票に行くのに」という声だった。立命生の選挙に対する関心は、住民票の問題や過去の参議院選挙の投票率が全国平均で五〇%前後だということとを考慮すれば、いちがいに「政治離れ」しているとは言い切れないようだ。

実際、キャンパス内には、「弁論部」や知事・政治家をはじめとする公的機関にインターンシップをあっせんしているNPO法人「J-P（ドット）ジェ

ーピー」など、政治意識の高い学生団体やサークルが存在し、講演会などを催している。

「政治家との直接会話で『政治家ってこういうものなんだ』ということを知ってほしい」との思いから、ある著名な政治家を招いて六月末に弁論部が主催した講演会では、立命生をはじめ学外からも聴講者が殺到。開場前から約六〇〇人が列をつくり、座り切れない約一〇〇人が立ち見となった。

第二部のトークバトルでは、学生が講演者に行政や外交などに関する質問や意見をぶつけ、白熱する場面も見られ、「このように、学生が一生懸命に質問してくれたのは初めて」と講演者は笑顔で振り返った。

また、政治意識について聞いてみると、「毎日、新聞やニュースは必ず見るようにしている」、「選挙前は街頭演説を友達と聞きに行った」という学生は少なくない。昼ご飯を食べながら「その日のニュースについて議論したりする」学生たちもいるようだ。今回の参議院選挙の投票に行った学生にそ

の理由を尋ねたところ、「二〇歳になる前から投票には行くべきだと思っていたから」、「政治に一般市民が参加できる唯一の権利だから行使しないとつたいない」との意見。さらに、政治に関心をもったきっかけを尋ねると「自分が二〇歳になって選挙権をもってから、ちゃんと政治に参加せねば」と思い、新聞の政治欄などにも目を通すようになった」という学生が大半だった。

では、学生が政治に求めているのは何なのだろうか。話を聞くと、「高い学費や就職難についても政策を考えて欲しい」という意見が多かった。まずは自分たちの身近な問題から、教育問題や景気回復について情勢を見守っているようだ。

今回、政治意識についてのリサーチをしていて「以前から政治に興味はあったが、周りから変な目で見られるのではないかと隠していた」という学生に出会った。「若者の政治離れ」という固定観念が、学生に政治について語るのをばからせているのかも知れない。

2001 全国校友大会のご案内

毎年恒例の校友の集い、全国校友大会。今年は3年ぶりに錦秋の京都で開催いたします。
第一線で活躍中の司会のお二人や、パワー溢れる多彩な現役学生たちとともに
「立命館のいま」をつぶさにご覧いただける企画を用意し、皆様のお越しをお待ちしています。
懐かしく、そして新鮮なひと時を、ぜひ一緒に。

日時 11月10日（土）午後5時30分開場
会場 都ホテル 瑞穂の間（京都・蹴上）
会費 10,000円
（ただしご家族は7,000円）

- ※ 当日券もご用意いたします。
- ※ 家族券は当日販売のみとさせていただきます。
- ※ 開場時間までの控室はございませんので、ご了承下さい。

司会

桂 小春団治さん

（'76文入学・落語家）

村上 順子さん

（'92文・読賣テレビ放送アナウンサー）



村上 順子さん



桂 小春団治さん

■ 出演

軽音楽部・和太鼓ドン・応援団&チアリーダー部・
アカペラサークルクレフ・競技ダンス部（順不同）



【全国校友大会 チケットお申し込み・お問い合わせ先】

立命館大学校友会事務局（校友課）

Tel. 075-465-8120

G I F U

岐阜県校友会

岐阜県校友会総会は、去る七月二四日（土）、サンピア岐阜において開催されました。第四七回の今年は、一〇〇名余の出席者を得て、例年とは趣向を変えて会員相互の情報交換をメインに企画・運営されました。

第一部の総会は、上田勝弘会長（日本金型工業会会長）の挨拶と基調講演「中国経済界の現場を視察して」に始まり、立命館学園井上純一常務理事より祝辞・学園の近況報告をいただいた後、林隆聖前会長への感謝状・記念贈呈、会務報告、予算・決算の承認と進みました。

第二部の懇親会では、冒頭に「名刺交換・フリートーク」タイムが約一五分間設定され、和のムードが一気に盛り上がりました。続いて、来賓の安田祐造校友会本部常任幹事会副議長・土田三太郎愛知県校友会会長ならびに林幸雄同副会長より校友会活動の現場の動き等について報告がありました。アトラクションを準備しない今年の懇親会でしたが、学部別に着席したり、対話型議事進行を取り入れた分、互いの生活感覚や現状について語り合うことができ、楽しい集いでした。

〔64法 小倉正紀・記〕



N A R A

奈良県校友会

今年四月二〇日に新たに南和支部会長杉本昭司 会員数三七〇名が誕生致しました。従って現在グループ数は一〇になっています。立鹿会、奈良市役所 清心会、建設会、南都銀行、奈良交通、33会、天理わだつみ会、婦人部、南和支部。

去る六月九日（土）には橿原神宮会館及び崇徳会館にて「総会」を開催しました。大学側から大南正瑛前総長、甲賀光秀専務理事、校友会本部からは岡泰造副会長、そして名譽校友の方々の御臨席を賜り、お陰で盛大な会になりました。

出席人数は一五〇名で、特に今回は「夫婦、ご家族、若年層、海外留学生等幅広い参加者」を得ました。これは当会が目指す「グローバルな会員相互の親睦と母校の発展」に近づいたのです。

ご来賓の方々からは学校の現状と将来像、校友会の姿勢や発展等について大変有意義なお話を戴きました。また懇親会では現役学生による素晴らしいバンド演奏があり、和やかな宴に一段と華やかな花を添えて戴いた次第です。

当会は今年三月役員改選で新体制に移りましたが、当面は新旧一体となって新しい事業計画に取り組んでいます。今年度は役員の仕事分担も明確にして特に会員親睦と広報活動が重点的になります。具体的には秋の一泊旅行、ゴルフ、アウトドア、文化サークル、新年会、婦人部サロン、会員増強、HP開設、そして喜多神顧問のご厚意で奈良市東向通りに念願の校友サロンとして「喫茶弁天」を二〇月から自由に利用出来るようになります。

全国の校友の皆様、奈良に來られる機会がありましたら是非一度お立ち寄り下さい。



〔奈良県校友会URL〕 <http://homepage2.nifty.com/nis-nara-al/>

〔63経済 吉野正史・記〕

H Y O G O

兵庫県校友会

「兵庫県校友会の集い」は、七月八日（日）、神戸湊川神社の楠公会館で開かれた。二二世紀最初、そして大庫新会長としても初めての総会とあって、努力されて一三〇人が集まった。

まず会長が挨拶に立って「大学の発展ぶりから力をいただきたい、兵庫県校友会も充実したい、そして、同窓が健康相照らすことのできる会にしたい」と話された。続いて長田総長が「本学が今日の発展をみたのは、OB・OG諸氏のご協力の賜物」と挨拶された。さらに大阪校友会副会長の有田氏が「お隣の校友会同士、力を合わせよう」と挨拶された。

アトラクションは津軽三味線「ジャパネスク」による演奏。迫力あるバチさばきと唄声の奥の深さを堪能した。

全員での大学歌斉唱ののち、さあ懇親会。藤澤前会長の発声で乾杯。初顔合わせや久しぶり、名刺交換をして歓談を深めた。こういう会は懇親が大切。十分時間をとっていろいろな人と言葉を交わすのが本会の校友会であろう。全国大会もそうであって欲しい。

フィナーレでは、吉田寮旗を持参の面々がリードして寮歌を熱唱。続いて杉浦先輩の「満場の諸君！ここに集うは立命健児なり！」という巻頭言で応援歌を合唱。最後は赤穂から参加の木村副会長の発声で万歳三唱をしてめでたきお開きとなった。



〔62文 中野友撰・記〕

OSAKA SHIGAKU

大阪私学校友会

大阪府下の私立学校に勤務する教職員並びに私学教育に関係のある校友をもって構成している当会は、今年記念すべき一〇周年を迎えることができました。主な活動は、毎年総会開催、大阪校友会年次大会への参加、五年毎の名簿作成等です。結成一〇周年の総会は去る六月二〇日（水）大阪弥生会館で開催しました。参加者は一九名で、記念総会としては少数でしたが、その分より親密に情報交換などできました。今年から専門学校に在籍の校友四三名の方が入会していただき、現会員は二六四名となりました。ちょうど名簿更新の年に当たり、新名簿を手作りで完成して会員全員に配布しました。事務費の協力をお願いしたところ、会員の約三分の一という多くの方にご賛同いただき、関心の高さを有難く思いました。今後は総会にもできるだけ多く参加していただくよう願っております。

今回、役員の一部改選があり事務局も変わりました。これまでの協力に感謝すると共に、当校友会のますますの発展を願って報告といたします。

「51法 吉田 昇・記

M I E

三重県校友会

二世紀初の三重県校友会総会を、中勢会が中心となって六月一六日（土）開催しました。縦に長い三重にあつて中勢会のエリアはサーキットで有名な鈴鹿市南部から松阪市の松阪市迄の間です。約一〇〇名が集いました。大学側から田中道七副総長、廣近直樹教育研究事業部長、校友会代表として蟹江嘉信副会長がそれぞれ来賓としてご出席下さいました。

二年振りの再会に顔をほころばせた校友諸氏が次々に会場入りし、一六時総会開会、一七時記念撮影。田中副総長による祝詞は「立命館アジア太平洋大学」の様子、学生の国際構成と特徴などの説明と、昨今の母校の目覚ましい躍進・充実についてでした。当会の話題としては、今年は若干の若手OBの登用をみたということがあります。全国校友会会長会議の要望のひとつとしてよく上がることに、この「各県校友会での若手幹部登用」がありますが、私たちもインターネットを使った目新しい運営などを模索しているところであります。

懇親会の「くじ引き」では、ペア旅行券、水菓子類、冷酒、焼酎といった先輩からの寄贈品に加え景品がどっさりあり、名司会が雰囲気盛り上げました。

校歌、応援歌の合唱はいつもながらジンと来るものがあり、年齢・職域を全く問わない同窓だけの連帯感に浸り、いっそうの母校の発展を願ったことでした。

「58経済 市川武彦・記



O K I N A W A

沖縄県校友会

沖縄県校友会は、八月四日（土）那覇市にあるサザンプラザ海邦にて総会を開催しました。当日は大学から伊藤昇総務部長、志垣陽枝課長を迎え、会員四〇名の参加を得ました。参加者の中には四回生の方もいて、有意義な交流になりました。

我が沖縄県校友会は、名簿上でも一七二名の小さな組織ですが、家族的な組織をモットーにしております。数年前からは三、四回生にも総会の案内状を出し、総会開催時期を在学生帰省時の夏期休暇中に変更する等して、在学生が校友会総会に積極的に参加できるように工夫しています。

昨年のAPU開学式典には六〇代から二〇代までの校友一〇名で参加しました。道中ハッピーニングもあり、今となってはとても楽しい思い出となっています。

毎回の当会総会に対する校友会事務局のきめ細かな対応に感謝申し上げます。昨今の少子化の影響で全国的に大学の経営が厳しくなっている中で、立命館大学が益々発展している理由の一つとして、校友会に対するこのような対応もあげられると思います。



これからの時代どんな組織でもネーマバリューだけでは生き残れないでしょう。

我が母校立命館大学の今後一層の発展を願っています。

「78理工 古波倉正松・記

新規優待店のお知らせ

ミサワホーム近畿(株)

お客様の住まいが、本当に資産価値の高い、永く愛着に応えられるものであるようミサワホームでは、100年先を見据えた住まいづくりを行なっています。

建物工事請負契約いただいた方に
10万円分の
オプションサービス!!



来場時にファミリーカードの提示をお願い致します。

※京都支店での施工エリアに限ります。その他の地域の方は京都支店小林までご相談ください。

※他の優待との重複利用はできません。

京都支店の各展示場

北大路展示場	京都市北区小山西上総町22	TEL 075-495-3301
五条展示場	京都市下京区西七条赤土町20	TEL 075-323-6310
六地藏展示場	京都市伏見区桃山町因幡20	TEL 075-602-3301
亀岡展示場	亀岡市篠町篠空殿4-1	TEL 0771-25-1861
京都南展示場	宇治市大久保町大竹45-1	TEL 0774-41-3301
北近畿店GL	福知山市篠尾新町3丁目6-1	TEL 0773-23-3371
ハウジングピア展示場	福知山市荒河東町123	TEL 0773-23-5077
綾部展示場	綾部市岡町長田16-1	TEL 0773-43-0567
舞鶴展示場	舞鶴市福来467-1	TEL 0773-75-2552

京都支店では、現場見学会・住まい方セミナー・税務相談会などの各種イベントを行なっております。ご案内をご希望の方は資料請求券を貼付の上、下記までお送りください。その他の地域の方もイベント・物件情報など何でも下記までお問合せください。

〒604-0022京都市中京区室町通御池上る御池之町323
TEL. 075-211-3214 FAX. 075-223-0803
E-mail ky-kaihatsu@misawa-kinki.co.jp HP http://www.330.co.jp
ミサワホーム近畿株式会社 京都支店 法人担当 小林

資料請求券
りつめいNo.206

味匠 寺岡

ご飲食代金の税込価格より
10%割引

※ご予約時又はご来店時にファミリーカード会員であることをお伝えください。

そこかしこに町家が残る、京都・堺町通二条。味匠寺岡は、店主こだわりの季節の味いを、堀ごたつ調の心なごむお席で、気軽にお楽しみいただけるお店です。秋直送の魚介類を使った本格日本料理、おぼんざい、時々凝らされた趣向が楽しい創作料理などを、選りすぐった器とともにご満喫ください。坪庭に数奇屋風造り、粋を凝らした小部屋で、お仲間だけの宴会もお楽しみいただけます。

住 所：京都市中京区堺町通二条下る杉屋町624

電 話：075 (212) 4769

ア ク セ ス：京都市地下鉄烏丸線・東西線「烏丸御池」より徒歩10分



「クレオ気功・太極拳教室」 新規開催のお知らせ。

暑い夏もようやく過ぎ去り、いよいよスポーツの秋がやってまいりました。

今回弊社では校友の柴田宏さん(S38年経済卒)にご協力いただき安価にて「クレオ気功・太極拳教室」を開催します。

中国四千年の完成された健康法である「気功・太極拳」はどなたでも簡単に覚えらるる体操として中高年層の方にも静かなブームとなっています。

朝のひととき、校友の皆様を中心とした相互の交流を深めつつ心地よい汗を流しませんか?



記

教室開講日：2001年10月13日(土)より

日 程：10月13・20・27、11月10・17・24、
12月1・8・15・22日 全10回

時 間：午前10時30分～1時間程度

場 所：弊社3階会議室(京都市北区平野上八丁柳町28)

会 費：5,000円(税別)

定 員：20名程度(先着順で締め切ります)

*申込締切日時は10月10日の5時です。お早め!

お申込・お問い合わせは、

下記「立命館ファミリーカード」係まで

優待店 立命館ファミリーカード
お申し込み・お問い合わせ先

〒603-8353

京都市北区平野上八丁柳町28

(株)クレオテック

「立命館ファミリーカード」係

TEL. 075 (463) 9197

FAX. 075 (465) 5697

※ 立命館ファミリーカード会員の方は、割引の特典がございます。

[立命館オリジナルグッズ] 通信販売

立命館アジア太平洋大学
開学記念ロゴ入り

ゴルフボール

Sale! ■ダンロップ社製 DDHツアースペシャル
■1ダース(12個)

立命館ファミリーカード会員価格	一般価格
¥3,600 (税別)	¥3,900 (税別)
¥1,800 (税別)	¥2,000 (税別)

新製品のお知らせ

北山杉工芸品「立命館名入り置き時計」**New**

衣笠キャンパスから西へ。国道162号(周山街道)を1時間弱車を走らせると、そこは川端康成「古都」の世界。丹波高原のなかにあって日本海と太平洋の分水嶺をなし、京都府の屋根とも言われる木の里。その中の京北町は、総面積の93%が森林で多雨多湿の気候のなか森林育成され特産の磨き丸太など自然の恩恵をうけております。今回ご提供の北山杉工芸品「立命館名入り置き時計」の杉はそんな中で育ちました。



た。北山杉の特徴とされている「通りが良く、真円で年輪が緻密、木肌が白くなめらか、割れにくい」などの特徴を守るため、傷めずに製品にすることは大変難しいとされています。そのため杉の育成・製品加工には、さまざまな工夫と努力がなされています。ご提供の時計は、大切にひとつひとつ心を込めて手作りいたしました。

是非この機会に、お買い求めくださいますようご案内申し上げます。

立命館ファミリーカード会員価格	本体寸法	たて14cm×よこ16cm×奥行5.5cm 直径 10cm (時計部分)
¥5,800 (税別)	＊重さ	380g
一般価格	台 寸法	たて13cm×よこ25cm×高さ2.5cm
¥6,300 (税別)	＊重さ	250g

材質…本体(時計の枠)・台/北山杉
時計…APS樹脂(日本製)
＊天然木利用の為、寸法・色など若干異なる場合があります。

「セラミックボールペン」**New**

ペン先のセラミックボールがスムーズな書き味を実現。高級感のあふれる金属ボディに立命館マークをあしらいました。太、細の2種類からお選びいただけます。

〈太タイプ〉

立命館ファミリーカード会員価格	一般価格
¥1,400 (税別)	¥1,600 (税別)

〈細タイプ〉

立命館ファミリーカード会員価格	一般価格
¥800 (税別)	¥950 (税別)

サイズ：(太) 全長141mm 直径φ13mm (細) 全長138mm 直径φ10mm

監修 立命館大学国際平和ミュージアム 『CD-ROM 岩波平和ミュージアム』

立命館大学国際平和ミュージアムの展示内容を中心に広島平和記念資料館・長崎原爆資料館の展示の一部を含めた『CD-ROM 岩波平和ミュージアム』が、このほど立命館大学国際平和ミュージアムの監修で岩波書店より刊行されました。

十五年戦争、原爆投下、ベトナム戦争、現代の紛争など戦争の加害と被害の実態を、テキストと豊富なマルチメディアデータをもとに紹介する、国内初のCD-ROM上の「平和博物館」です。操作は簡単。マウスをクリックするだけでみる事ができます。

内容は多彩。テーマ、キーワード、シアター、トピックス、アーカイブスのメニューがあり、「テーマ」、「平和へのアピール」の項目では、故末川博総長の紹介と「わだつみ像」の前で挨拶する写真が表示されます。「シアター」では本学の学生が協力したナレーションによる解説で、博物館の館内を音声ガイド付で閲覧する雰囲気味わえます。「トピックス」では、原爆投下後の広島パノラマ写真を360度操作しながらみたり、撮影者のインタビューも収録、「アーカイブス」では、約600点の写真、21点の動画、年表や図表のほか国内の主な「平和博物館」や参考になるホームページの「リンク集」もあります。

また、テーマ、シアター、キーワードでは小学生高学年、中学生のためにわかりやすく説明した「ジュニアモード」が付き、学習にも活用できます。

「監修者のことば」にもある「このCD-ROM上のミュージアムが学校教育や社会教育のために広く有効に活用されることを期待している」ことから、できるだけ多くの人に見てもらいたい、そんな願いを込めまして今回校友の方々には特別価格にてご提供させていただくことが出来ました。是非この機会にもう一度「平和」について考えてみませんか? 尚、お申込の際には動作環境をご明記ください。

価格	12cm CD-ROM 1枚+取扱説明書 書店店頭価格 9,500円(税別)を立命館ファミリーカード会員価格 8,286円(税別) 一般価格 8,477円(税別)
----	---

動作環境	〈Windows〉OS CPU : 日本語版 Microsoft Windows95/98/Me/2000Pro CPU : Pentium133MHz以上 (200MHz以上推奨) メモリ : 32MB以上 (64MB以上推奨) ディスプレイ : 800×600ドット以上、カラー16ビット (High Color) 以上 CD-ROM : 8倍速以上 その他 : サウンド再生機能 〈Macintosh〉OS CPU : 日本語版 Mac OS 7.6.1~9.1 CPU : PowerPC133MHz以上 (G3以上推奨) メモリ : 24MB以上の空き ディスプレイ : 800×600ドット以上、32000色以上 CD-ROM : 8倍速以上 その他 : QuickTime3.0 以上 岩波書店HP http://www.iwanami.co.jp/
------	--



[立命館オリジナルグッズ] 通信販売 お申し込みのご案内

お申し込み方法 ハガキまたはファックスに、住所、氏名(フリガナ)、年令、電話番号、立命館ファミリーカード会員番号、カード有効期限、商品名、数量、金額、お届け先をご記入のうえお申し込みください。

お支払い方法について 立命館ファミリーカード会員の皆様は、カード払いがご利用いただけます。※お申し込み時に必ず明記してください。

一般の皆様は、商品到着後「郵便払込み」にてお支払いください。

値段は税抜き価格です。消費税は別途申し受けます。

お届けについて 商品は、当社がお申し込みを受け付けてから約2週間でお届けいたします。

送料について ご注文毎に1ヶ所のお届け先につき、送料を申し受けます。

通信販売 お申し込み・お問い合わせ先

〒603-8353 京都市北区平野上八丁柳町28
(株)クレオテック「ショップリベルテ通販」係
TEL. 075(463)9740 FAX. 075(465)5697

10万人をこえる受験生を迎えて これからの入試改革の方向

2001年度の入学試験では、早稲田大学に次ぐ全国第2位の志願者数となりました。こうした中、立命館は今後どのような学生を迎え入れる入学政策を展開していくのか、その方向と改革の方針について、
教学部副部長 本郷真紹文学部教授にお話を伺いました。



教学部副部長 本郷真紹文学部教授

二〇〇一年度入試は、学園創立一〇〇周年の年の入試となりましたが、学園史上最高の一〇一、五七七名の志願者がありました。これをどのように分析されていますか？

過去十数年、立命館大学は、志願者数を急速に伸ばしてきました。八〇年代後半から新たな入試方式の導入などで複数の受験機会を可能にし、いろいろな学びの特色をもった学生を多元的に受け入れようとした。このことが志願者の増加につながり一〇万名を超えることもありました。

平均的にすべての科目に強い人もいれば、特定の科目に強い人もいます。文化・芸術に秀でた人もいればスポーツの得意な人もいます。あるいは学ぶ自覚を自らアピールして評価される人もいます。それらの志願者を多様に受け入れられるよう、入試のシステムを改革してきたわけですが、過去はそのことが一〇万名を超える志願者という形になってあらわれました。

今回の入試で志願者が一〇万名を超えたというのは、過去の数字の背景とまったく違います。少子化が進み一八歳人口が減少し、私学の一部では経営危機も報道される中で、入試方式が多様だから志願者が集まるというわけにはいきません。個々の受験生にヒアリングしてみると「入りたい大学」「学びたい大学」として立命館大学をとらえてくれています。多くの情報を集めていて、その中で彼らなりの選択で立命館は「面白そうだな」とみて、受験しているのです。つまり大学の中心、具体的には教学内容や設備の面などが総合的に評価された結果が志願者数に現れた。これが過去の「一〇万名入試」との違いです。

受験生が「面白そうだな」と考える立命館の教育とは、どのような点を指しているのでしょうか？

入試の段階で多様な能力をもった学生を受け入れ、それと連動する形で学生の学びのシステムを構築してきました。だから、学びが多様なんです。学生一人一人がそれぞれ目標を設定して、それぞれのやり方で自分の目指す方向へ近づいていくことができる。そしてそれを多元的に支援するシステムができている。そのことが魅力につながっていると思います。

たとえば学生が将来、国際分野で働きたいと思えばそれに即した教育システムがあります。どこの大学も国際化やIT化の推進を掲げていますが、本学には、それらにとどまらない多様な学びの素材や環境が用意されている。受験雑誌などを通じて受験生はよく知っています。

自分の個性や希望を伸ばしてくれる大学はどこか。そういった視点から大学選びが行われています。

最近、高校の先生とお会いする機会も多いのですが、高校の先生方の立命館大学に対する評価については、はつきり変わってきています。「大学教育開発・支援センター」で高校教員との懇談会を定期的に開催していますが、いろいろな意味で立命館に関心をもってもらっていることがわかります。この一〇数年前で「東の慶応」、「西の立命館」と言われるほどの大きな高い評価を得られるようになってきましたが、なぜ、高校生が立命館に魅力を感じているか、高校の先生方とお互いに刺激を与え合うような形で率直な意見交換を続けています。高校の先生方の中には、立命館の魅力は何かという点について、教学内容などについて本気でチェックして、シビアな指摘をい

ただくことでもあります。我々が反省し、改革努力をしなければいけない点も教えていただいています。このように先生方や学生の声を反映する形で教学改革に取り組んできたことが、高い評価を得ることにつながっていると思います。本学が大切にしてきた全学協議会の議論が学園運営に反映されることも評価されています。これは、他の大学では考えにくい。特に国公立大学ではありえないシステムです。

高校の先生も受験生も、偏差値中心に大学を見るのではなく、大学の本当の魅力を考えるようになり、それが評価基準になって立命館の魅力が高まってきたわけですね？

そうだと思います。だから一言で言えば「学園づくりに自ら参画する魅力」がこの大学にはあります。できあいのものをお客さんに提供するのではなく、「学生自らが積極的、主体的に取り組めば目標以上のものが得られるし、新たな可能性も開ける」ということが示されている。高校の先生も受験生もそれをよく理解してくれている。私はそう考えています。

また、立命館は全国型の大学として歴史を重ねてきましたが、少子化の影響などから地元回帰のような傾向も見られます。しかし一方で、これまでに比べて一世帯のなかで、子供一人にかかる費用は多くなっていると考えられます。ですから、高等教育に関して少子化が直ちに危機であると考えるのは短絡的です。むしろ経済的な面ではケアは厚くなっているといえますが、その分中身が問われる。求められるのは「教育の質」ということになります。

今後、全国の大学の募集定員が一八歳

人口を越えたとしても、浪人してでも意中の大学へ入りたいという受験生は常にいるはずですよ。どこでもいいから大学へ入れたらよいという考えよりも、「全入時代」だからこそ自分で選んで行きたい大学へ行く。そのための競争が続くと思います。確かに経済状況が厳しい中で、近くて授業料も安い国公立の大学へ進むという考えもわかります。しかし、大学の内容を授業面やハード面から検証してもらえば、国立より高い学費を払ってでも私学、立命館へ行く価値は十分にある、ということもわかってもらえると思います。実際に国公立の大学に合格しても立命館へ進学してくる入学者の数が年々増えていること、競合する国公立大学のレベルがあがってきていることから、立命館が高く評価されていることが分かります。

受験生の地域分布をみてみますと、これは、近畿圏以外でも比較的近い地域の受験生動向が鍵になります。例えば、名古屋地域の受験生は、一〇年前であればほとんどが東京の大学を目指しましたが、最近本学では、この地域からの入学者が増えてきている。また、中国・九州エリアの受験生が地元の国立大学に合格しても立命館へ進学するケースが増えていきます。それだけ立命館の評価が高くなっているわけですが、今後、東北や関東から「遠くてもあえて進学したい」といえるだけの魅力ある大学にしていこうためにはどうしたらいいのか、こうした取り組みが重要で、我々はこうした課題に取り組んでいかなければならないと考えています。

また、大学の中身を比較して「立命館に進学したい」という受験生が、能力があるにもかかわらず断念する一番の理由は、経済的理由です。これまでその課題を解消するために、思い切った育英奨学

金を制度化化してきています。場合によっては、国立大学よりも安い学費で学べる制度があるわけですから、これらの制度を広く浸透させていく必要があります。モチベーションと能力のある学生が立命館で学べる条件は整いつつあります。今後も学生を励ます仕組みづくりは多面的に進めていく必要があります。

二〇〇二年度の入試では、四教科入試の導入など新たな方向性が打ち出されています。これまでどのような違いがあるのでしょうか？

二〇〇二年度は、三教科・記述論述型と四教科型の入学試験を導入します。四教科型入試では、文系の受験生に数学を、理系の受験生に国語を課します。これまでの文部科学省の方針では「ゆとり教育」の推進で高校でのカリキュラム選択がますます自由になってきています。極端に言うとも最小限のことしかノルマとして課されない。あとは個々の生徒の実情に合わせて学習指導を行うということになっています。ところがその結果、本当に個性を伸ばす教育が行われているとは必ずしも言えない状況になっています。現状ではどうしても、高校の教育が大学入試に収斂されていくことは否定できません。その場合、少教科入試をずっと続けると、英語だけとか国語だけ勉強することで入試に通ればよい、という安直な姿勢が定着してしまう。高校段階でその傾向が強まると、生徒の可能性の芽を摘んでしまうことになります。例えば私は文学部の教員ですが、文学部の学生でも、高校時代数学の勉強は本気でやった、という学生がいると、発想や論理的思考の上で、違うものが出てくる。計算能力云々ではなくて、発想の問題なのです。そこで従来の私立三教科型だけ

ではなく、そういった勉強をしてきた学生を受け入れたい、ということが、今回の新方式導入の主旨といえます。

とはいえ、私立大学入試としては、従来の三教科型が中心でいいと思います。そこに加えて、論述型あるいは多教科型入試の合格者が入学することで、その発想による刺激が全体に与える影響について期待しています。これも学びの多様化と活性化につながることを考えています。全国的にみても、このような入試方式を全学的に導入する大学は少ないと思います。たしかに立命館の教授会でもいろいろな議論がありました。賛成の理由は、国立大学の学生と比べて本学の学生に力量不足の点があるとすれば、多教科型受験をしていないことに起因するのではないかと、実現できれば一層の活性化が進む、という考え方です。一方、いま以上に受験方式を増やすことでさらに多様な学生を確保することができののかという議論もありました。こういった議論の場合、入学した学生達にとってどちらが望ましいのか、という視点が不可欠で、その視点に沿って三教科・記述論述型と四教科型を実施することになりました。

AO入試といわれるアドミッションズ・オフィス方式の入試が全国的に普及し、「アドミッション・ポリシー」という言葉が使われるようになってきています。立命館にとっての「アドミッション・ポリシー」をお話してください。

全学的に多様な学びの仕組みがあり、さらに学部ごとの個性もあります。法学部のロースクール展開、文学部の人文科学総合インスティテュートなど、学部ごとに「学生をこう育てていこう」というものをもっています。そこに

2002年度入試の概要

立命館大学

Ritsumeikan University

【問い合わせ先】

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 入学センター
電話：075-465-1111

●3教科入試 A方式

3教科型のスタンダードな入試

●3教科・記述論述型入試

論理的思考力・表現力が生かせる入試、英語・数学・国語の3教科で実施

●4教科型入試

総合的な基礎学力が生かせる入試、文系学部では英・国・社・数、理工学部では英・理・数・国の4教科で実施

●2教科型入試

数学重視や英語重視など得意科目の学力を生かせる入試、アメリカン大学とのデュアル・ディグリー制度履修者選抜入試、4年間で2つの大学を卒業

●センター試験利用

センター試験（2教科、3教科、4教科）のみで受験できる入試

立命館アジア太平洋大学

Ritsumeikan Asia Pacific University

【問い合わせ先】

〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1 アドミッションズ・オフィス
電話：0977-78-1006

●3教科入試 A方式

3教科型のスタンダードな入試

●3教科・記述論述型入試

論理的思考力・表現力が生かせる入試、英語・数学・国語の3教科で実施

●4教科型入試

総合的な基礎学力が生かせる入試 英・国・社・数の4教科で実施

●2教科型入試

英語重視など得意科目の学力を生かせる入試

●センター試験利用

センター試験（2教科、3教科）のみで受験できる入試

●APUセミナー方式

個性・才能を生かせ、意欲・熱意を表現できる、人物本位の総合評価入試



魅力を感じている受験生に、最初からその学部をめざしてチャレンジしてもらうシステムとして、学部独自方式のAO入試があります。法学部が先行していた「学部独自方式」は文系学部すべてが実施するようになりましたが、ここでは学部ごとにニーズを明らかにしてその趣旨に沿った学生を受け入れようとしています。入口段階から「相思相愛の関係」で入試を実施することになります。他方で、一般的に高い学力を評価されて入学後の様々な刺激の中で成長していく学生もいます。立命館は、このどちらの学生も受け入れていくとしています。それが学生の新たな活性化を生んでいるといえます。学生には速成型もあれば晩成型もあります。大学とはいろいろな能力をもつ学生を受け入れることが大切です。こういった考えに

もついても、AO入試はどの学部も拡張してきています。

次年度入試は動き始めています
が、次年度も含めて将来の入試について、どんな方向で進めていくのかお聞かせください。

これまでも入試は自己検証しながら進めてきました。具体的には、多様な入試によって入学した学生の入学後の情報を検証しながら、次の入試に活かしています。もちろん、役割を終えた入試方式は廃止しています。そういったスクラップと新しい入試方式のビルドはこれからも繰り返していかなければいけません。その目的は、単純に受験生が多ければよいということではなく、立命館が求めている学生像を追求するためであって、その一環として入試がある。それが真に大学としての「アドミッション・ポリシー」です。一言でいえば「多様な学びの構造をいかに充実させるか」ということに尽きるのではないかと考えています。

インターンシップ教育 と学生の学び

Q 社会の視点・考え方を学ぶ
インターンシップ教育とは、
どのようなものだろうか？

A ■なぜ、インターンシップ教育なのか

激動する社会状況の中で、豊かな
教養・知識を有し、独創的な発想が
でき、主体的に考え、問題を発見し
解決していくことのできる、「総合
力」を持った人材の育成が、大学に
強く求められています。このような
状況にあって、学生が企業などの実
社会において実習・研修的な就業体
験を行うインターンシップへの期待
は年々高まってきました。

■インターンシップ教育の現状

インターンシップは、学生が在学
中に自分の専攻・将来のキャリアに
関連した就業体験を行う産学共同の
教育プログラムです。学生は、キャ
ンパスで学んだことを実社会で実践
することで、職業観・労働観を育み、
好奇心を高め、大学での学
びに反映しています。



■本校のインターンシ
ップ教育は、一九九二年度
国際関係研究科において
初めて、正課として単位
化されました。学部では
一九九七年度、法学部では
おいて行われた法律事務所・司
法書士事務所での
法務事務実習が、最初の
単位認定を行うインター
ンシップとして実施され
ました。その後、国際関
係学部、政策科学部、経

営学部において各学部教育にリンク
した機関で実施するプログラムを開
発してきました。一九九九年一月
には「就職部」を「キャリアセンタ
ー」と名称変更するとともに、キ
ャリアセンター内に「インターンシ
ップオフィス」を設置し、インター
ンシップの受け入れ先企業の開拓な
どを積極的に進めています。また、
「全学インターンシップ教育推進委
員会」を設置し、全学的にインター
ンシップ教育の推進に取り組んでい
ます。

■現在 本学で体験できるインター
ンシップには、三つのタイプがあり
ます。第一は各学部で正課科目とし
てデザインされ単位を付与するプロ
グラム、第二は単位認定は行わない
ものの正課外の教育事業としてイン
ターンシップオフィスが進路・就職
など学生のキャリアアップ・就職
などを支援する就業体験型のプロ
グラム、第三は京都府内の大学が参
加する連携組織「大学コンソーシア
ム京都」が実施するインターンシ
ッププログラムです。

インターンシップを体験する学生
も加率的に増加していて、二〇〇
一年度は三〇〇社で六〇〇人が参
加する予定です。これは試行的に実施
された一九九七年度の体験者数の約
一〇倍にあたります。学生のインタ
ーンシップに対する関心も急激に高
まり、四年間で三つのインターンシ
ップを体験する学生もいます。

二〇〇一年度からは文学部もイン
ターンシップ教育をスタートさせ、
それぞれの学部にふさわしいインタ
ーンシッププログラムが学生に提供
できることになりました。また、理
工学部では、学生自身が自らの専攻
や研究課題を実践できる受け入れ先
を開拓する「インディペンデント・
スタディー型」のインターンシ
ップを実施しています。これはインタ

ンシップ教育の先端を担う欧米では
主流となっていて、二〇〇一年度か
らは経済学部、産業社会学部におい
ても実施します。

■また、視野を世界に転じた人材活
用システムの一つとして、海外イン
ターンシップも注目されています。
学生も海外ビジネスの現場において
就業体験を望み、実際体験している
学生も増えてきています。正課にお
いても国際関係研究科の実施する海
外実習に加え、二〇〇一年度から国
際関係学部や国際インスティテュ
トでも海外におけるインターンシ
ップが実施されます。さらに海外イン
ターンシップの推進・拡充に向けて
準備を進めています。

■これからのインターンシップ

■現在 社会的にもインターンシ
ップは急速に広がりを見せています。
新たな動きとして今春、大手電機メ
ーカが採用直結型のインターンシ
ップを実施しました。この動きを受
けて今夏、各大手企業が積極的にイ
ンターンシップを導入し始めまし
た。また、中小企業総合事業団は日
本商工会議所と協力して中小企業を
対象としたインターンシップを積極
的に推進しています。

■受け入れ企業はインターンシ
ップに対して、学生の職業観育成や入社
後のミスマッチの防止、優秀な学生
との接点、学生に向けた企業PRや
社内の活性化など、様々な期待を寄
せています。

■米国では大学生の七割がインタ
ーンシップを体験しています。今後
本学でも全学の学生が就職活動の前
に、二度はインターンシップを体
験してもらうことを目標にさらに積
極的に拡充していきたいと考えてい
ます。

Campus Topics

キャンパス＊トピックス
JULY. 2001 — SEPTEMBER. 2001

「産業社会学部人間福祉学科開設記念式典」を開催

七月七日、衣笠キャンパス以学館二号ホールにて、「産業社会学部人間福祉学科開設記念式典」を開催。社会福祉施設・機関関係者、学内外の関係者、卒業生、在校生など約三〇〇名が出席し、本年四月に開設された人間福祉学科への期待の大きさを表わした。記念式典では、学園を代表して佐々木雄代三副総長、産業社会学部を代表して篠田武司学部長より挨拶があり、来賓を代表して、北川龍市京都市社会福祉協議会会長、浜岡政好佛教大学社会学部部長よりご祝辞をいただいた。第一期生となる人間福祉学科学生を代表して一回生寺田幸司君より今後の抱負などこれからの大学生活への想いと人間福祉学科の開設にご協力いただいた学内外の関係者への謝意が表された。引き続き行われた記念講演では、本学名誉教授真田是先生に「これからの日本の社会福祉と人間福祉学科に期待するもの」と題して、日本の福祉の現状と人間福祉学科への期待を語っていただいた。

二〇〇一年度入試では、同学科の志願者は、一九五五名（特別入試含む）、入学者二一〇名。

「二〇〇一年度課外・自主活動個人奨励金採交付式」開催

七月九日、衣笠キャンパスでは末川記念会

館ホールで、びわこ・

くさつキャンパスではプリズムホールにおいて「二〇〇一年度課外・自主活動個人奨励金採交付式」が開催された。当日は、「サークル・クラブ活動などの自主的で集团的な諸活動において、優れた活動実績をあげ、さらに高い目標をめざす学生個人を励まし援助する」という本制度の趣旨に基づいて二八一名の出願者の中から採用された優秀賞二八名、奨励賞九三名、合計二二一名の受賞者が参加し交付状を受け取った。受賞者を代表して学友会特別事業室室長として学園祭などの全学行事をすすめてきた押方智嗣さん（産社三回生）が「一年間頑張ってきた活動が認められたことを嬉しく思い、また、今年も学園祭の成功に向けて努力していきたい」と感謝の辞を述べた。この制度は次年度以降も規模を拡大して実施していくことになっている。



シンポジウム「法科大学院（仮称）・学内公開模擬授業」法科大学院における法曹養成教育」を開催

七月三日、法曹養成教育研究会主催のシンポジウムが「法科大学院（仮称）・学内公開模擬授業」法科大学院における法曹養成教育をテーマに、創思館カンファレンスルームにおいて開催された。法学部の学生・院生・教員を中心に約一三〇名が、三時間に行わたる模擬授業・質疑に熱心に耳を傾けた。二〇〇四年四月開設をめざした本学法科大学院の準備状況報告に続いて、実務を強く意識したテーマ設定のもとに白熱した討論方式を展開した「商法演習」「民事法総合演習」の二つの模擬授業が行われ、元裁判官や現役弁護士により法曹養成教育の視点からのコメントがあった。参加者に対するアンケートでは、模



擬授業を見た約七割の学生が「もし立命館大学法科大学院に入学できるなら入学したい」と答えており、関心の高さを物語った。法曹養成教育研究会では今後さらに教育内容の検討を進め、一二月頃には他大学の教員や法曹市民にも開かれた大規模な公開模擬授業第二弾を開催することを検討している。

APUサマーキャンプ二〇〇二 全国の高校生二〇五名が参加

八月七日〜九日、立命館アジア太平洋大学（APU）において、今年で二回目となる「APUサマーキャンプ」が開催され、北は北海道、南は熊本から、アジア太平洋の諸問題やAPUの学びに関心を持つ高校生一〇五名が参加した。参加者は、APU教員四名による模擬授業「アジア太平洋地域理解セミナー」を受講した後、初日午後からは一五グループに分かれ、学習アドバイザとして参加したAPU学生二名と共に、環境、言語、観光、マーケティングなど様々なテーマに基づきグループ学習を行った。最終日には、全てのグループが三日間の学習成果を発表し、活発な質疑応答、意見交換が行われた。優秀なプレゼンテーションを行ったグループ・個人には、サマーキャンプ大賞など各賞が贈られた。



一〇周年を迎えた「立命館・UBCジョイントプログラム」

①ホームカミング・デー開催（UBC）
一九九一年より開始した「立命館・UBC（カナダ、ブリティッシュ・コロンビア大学ジョイントプログラム）」は一〇周年を迎え、これまでに、〇〇〇名におよぶ学生をUBCに派遣してきた。これを記念し、UBCでは八月三日〜五日の三日間、バンクーバーにて「ホームカミング・デー」が行われた。プログラム参加現役学生・卒業生、これまでの引率担当職員は思い出の寮である「立命



館・U B C ハウスに宿泊し、Welcome Ceremony & Dinnerには校友会バンクーバー支部の会員やマクブライドU B C副学長夫妻、楠本バンクーバー総領事を含む約七〇名が出席した。レセプションの席では、第二期生の藤原文（九五年産社卒）さんが挨拶を行った。

い、「このプログラムに参加したことで人生が変わったといっても過言でない」と述べ、当時のプログラムをふりかえった。このプログラムは、学力と語学力の向上とともにカナダでの生活経験を通して国際人として成長することをめざすもので、参加した卒業生は、さまざまな記憶のつまったなつかしい寮やキャンパスで思い出話に花を咲かせた。

②記念式典と国際シンポジウムを衣笠キャンパスで開催

七月四日、ホームカミング・デーに先立って、ジョイントプログラム一〇〇周年を記念する催しが開催され約二〇〇名が参加した。記念式典では長田豊臣総長が「毎年一〇〇名の学生が在学中にU B Cへの留学が経験できるという壮大かつ画期的なこのプログラムを、一〇周年を新たな出発点として、もう一段高いレベルに発展させたい」と挨拶。Pam Brunet駐日カナダ大使館一等書記官、Barry McBride U B C副学長の挨拶のあと、このプログラムの充実発展に多大な貢献をされたWalter Uegana U B C副学長補佐を有功者として表彰した。引き続きシンポジウムでは「国境を越える大学教育―立命館・U B Cジョイントプログラムが切り開いた地平と展望」と題してパネルディスカッションが行われ、それぞれの立場から国際化の取り組みの現状や課題について発言し、これからの国際化やIT化、遠隔教育、その融合などについて熱心に討議が行われた。その後、ジョイントプログラムに参加した各期の校友の約一五〇名による同窓会さながらの交流会が行われ、プログラムの思い出やその後の活躍を話すなど旧交を暖めた。

APU学生の協力で行われたイメージ・キャンプ

八月一六日～二八日、立命館アジア太平洋大学（APU）キャンパスにおいて公文教育研究会主催による「イメージ・キャンプ二〇〇」が行われた。これは公文教室に通う英検四級レベルの小学校四～六年生三〇名に英語のみで長期間通してもらおうという企画。これにはAPUの学生サークル「アントレプレナーズ」が四月の企画段階からプログラム作成やキャンプ・リーダーの選考、そして実際のキャンプまで長期にわたって協力した。また二〇〇名余りのAPU国際学生の中から選ばれた一七カ国・地域、二名の学生はキャンプ・リーダーとして小学生たちのサポートを行った。日本で初めての試みというこの企画は、APUの学生たちの協力と奮闘により全員が最後までやり遂げることができた。



公文教育研究会からは、APU学生たちの一連の活動を高く評価し、来年以降もぜひ協力してほしいとの要望が早くも出されている。

国際シンポジウム「芸術のアジア」外からの眼差しと内からの応え

九月三～五日、以学館一号ホールで国際シンポジウム「芸術のアジア」外からの眼差しと内からの応え」が開催された。このシンポジウムは第一回国際美学会議（八月二七～三一日、幕張）のオプショナル（協賛企画）としても位置づけられ、同時に本学で検討を進めている「新構想大学院」で扱う四大テーマのうちの一つである「表象」に関わるイメージ・キングとしての意味をもっている。

オガナイザーとして神林恒道氏（日本美学会会長・大阪大学大学院教授、基調講演講師として安藤忠雄氏、建築家・東京大学教授を迎え、その他、アジア諸国、ドイツ、イギリスにおける芸術学関係のトップレベルの研

究者一〇名が講演した。議論では一元的な西欧文化の時代について二一世紀の「アジアの美学・芸術学」を主体的に考察するための「アジア芸術学会」の設立計画を具体化することが必要であるとの認識に立ち、各講演やその後の質疑応答に、のべ七〇〇名の参加者が熱心に聞き入った。



マイクロシステムセンター建設工事起工式開催

九月五日、びわこ・くさつキャンパスにおいて「マイクロシステムセンター建設工事起工式」が執り行われた。起工式には、田中道七副総長、甲賀光秀専務理事をはじめとする学園役職者、設計・施行関係者のほか、同センターの建設にあたり多額のご厚志を提供いただいたTOWA株式会社（坂東和彦会長、奥田貞人社長ら）のご出席も得て、工事の安全ならびに完成後のセンターにおける研究成果の創出等を祈願した。

マイクロシステムセンターは、文部科学省の私立大学学術研究高度化推進事業「オーブン・リサーチ・センター整備事業」の採択を受け建設されるもの。完成は来年二月が予定されている。同センターにおいては、「オープン・リサーチ・センター整備事業」の趣旨に則り、公的機関や企業からの研究者を多数受け入れてマイクロ・ナノ領域での産官学共同プロジェクトを積極的に推進する。同施設は地上二階建て、延べ面積約一四五〇㎡でBKCの産学連携エリア「テクノコンプレックス」の一角に建設される。



TOWA株式会社と立命館大学は、起工式に先立つ七月一七日、ナノテクノロジーの研究交流に関する覚書に調印している。

学生の スポーツ&イベント

イベント・ガイド

問い合わせ先：学生センター
075-465-8141



学園祭

- 11月10～11日 BKC
- 11月17～18日 衣笠



応援団

- チャリング・フェスティバル
12月19日（水）京都会館第一ホール



ESS

- 総長杯争奪英語弁論大会
10月23日（火）以学館1号ホール



鉄道研究会

- 創立40周年記念写真展
12月10～15日 BKCユニオンホール



交響楽団

- 第86回定期演奏会
11月23日（金）琵琶湖ホール



マンドリンクラブ

- 第39回定期演奏会
11月24日（土）長岡京記念文化会館



クラシックギタークラブ

- 第40回定期演奏会
11月22日（木）京都府民ホールアルティ



メンネルコール

- 第54回定期演奏会
12月23日（日）長岡京記念文化会館



対局中の加藤幸男（右）



混声合唱団メディックス

- 第38回定期演奏会
12月7日（金）
呉竹文化センター（京都市伏見区京町南7丁目）



新演劇研究会「劇団月光斜」

- 2001年TeamBKC卒業公演
10月10～13日 BKCユニオンホール
- 2001年卒業公演
10月18～20日 学生会館小ホール



能楽部

- 立命能
11月6～7日 以学館2号ホール



邦楽部

- 第49回定期演奏会
10月19日（金）子供文化会館エンゼルハウス



将棋研究会

- 西日本学生将棋名人戦
8月11日（土）
優勝 加藤幸男（理工2回生）
準優勝 武田俊平（理工4回生）
- 第55回アマチュア名人戦
9月1～3日
準優勝 武田俊平（理工4回生）

■第20回朝日オープン選手権

8月12日（日）
10人のアマ代表が参加した同大会で、プロ棋士2人に勝った加藤幸男（理工2回生）はアマでただ1人3回戦に進出。元A級棋士の小林健二八段と対戦、109手までで惜しくも敗れた。



モダンジャズバレエ部

■第9回自主公演

11月30日（金）子供文化会館エンゼルハウス

附属校スポーツ



立命館宇治高校

■北海道マラソン

8月26日（日）
優勝
千葉真子
（卒業生）



復活V、
ゴールの瞬間。
（写真提供：北海道新聞）

■インターハイ

8月12日（日）
柔道部 女子団体戦 優勝

S P O R T S & E V E N T

スポーツ・ガイド

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863

<主な試合結果>



アメリカンフットボール部

<関西学生リーグ戦>

- 近畿大学戦
10月14日(日) 13:40～(宝ヶ池球技場)
- 京都大学戦
10月28日(日) 15:20～(阪急西宮スタジアム)
- 関西学院大学戦
11月11日(日) 15:20～(阪急西宮スタジアム)
- 甲南大学戦
11月24日(土) 15:20～(阪急西宮スタジアム)



硬式野球部

<関西学生野球秋季リーグ戦>

- 関西大学戦
10月13日(土) 13:30～(皇子山球場)
10月14日(日) 11:00～(皇子山球場)
- 同志社大学戦
10月28日(日) 13:00～(西京極球場)
10月29日(月) 17:30～(西京極球場)



サッカー部

<関西学生サッカー秋季リーグ戦>

- 京都産業大学戦
10月 7日(日) 14:45～(鶴見緑地球技場)
- 桃山学院大学戦
10月14日(日) 14:45～(西京極陸上競技場)
- 関西学院大学戦
10月21日(日) 14:15～(長居スタジアム)
- 天理大学戦
10月28日(日) 12:00～(長居スタジアム)



ラグビー部

<関西大学リーグ戦>

- 龍谷大学戦
10月 7日(日) 12:15～(花園ラグビー場Ⅱ)
- 大阪体育大学戦
10月21日(日) 14:00～(宝ヶ池球技場)
- 大阪経済大学戦
10月28日(日) 12:15～(宝ヶ池球技場)
- 摂南大学戦
11月 3日(土) 12:15～(花園ラグビー場Ⅰ)
- 同志社大学戦
11月11日(日) 14:00～(宝ヶ池球技場)
- 近畿大学戦
11月17日(土) 12:15～(宝ヶ池球技場)
- 京都産業大学戦
11月25日(日) 14:00～(宝ヶ池球技場)



副将鈴木が同志社三浦をおしだして優勝を決めた瞬間
(写真提供：京都新聞)



相撲部

- 第61回西日本選抜学生大会
9月 2日(日)
団体優勝(立命館は初優勝)
準決勝 VS 愛知学院大学 4:3
決勝 VS 同志社大学 5:2



男子陸上競技部

- 第33回全日本大学駅伝
11月 4日(日) 8:05
熱田神宮スタート → 伊勢神宮ゴール



女子陸上競技部

- ユニバーシアード北京大会
9月 1日(土)
ハーフマラソン
銀メダル 大山美樹(経済4回生)
- 第19回全日本大学女子駅伝
11月25日(日) 12:15
長居陸上競技場(スタート/ゴール)



水泳部

- 第9回世界選手権大会
7月20日(金)
シンクロナイズド・スイミング
デュエット 金メダル 武田美保(卒業生)
- 7月21日(土)
シンクロナイズド・スイミング
チーム 銀メダル 米田容子(経営4回生)
鈴木智江(経営1回生) 渡邊千晶(卒業生)



カヌー部

- 全日本学生カヌー選手権大会
総合優勝(2年連続) 8月30日～9月3日



千葉県小見川町で開催された同大会。写真はカナディアン種目。

編集室から

＊もう20数年前になるが、ワープロと初めて出会った時は本当にうれしかった。字が下手なことをいつも恥ずかしく思っていたので、これで、手紙も原稿も大いばりで書けると、変な事に感動したものだ。

今やメールの時代。ポストに入れる手間もなく、そのまま相手に瞬時に届くのだから素晴らしい。携帯電話も、最近は電話よりメールに使う人たちが多く聞く。メールは書くというより話す感覚に近いのだろう。若い人同志だけでなく、世代を越えてやりとりされるようになると、メールの様式も整ってくると思う。

校友のみなさんには、まずは登録していただき、Ritsメールを飛ばしてほしい。(M. K)

＊「白川先生は、『学問とは、浜辺の砂を掘るようなものだ』とおっしゃった。深く研究すればするほど、底辺を拡大しなければならぬ…。」と話す藤田さん。高校時代に芽生えた漢文の世界への憧れは、学問の厳しさを教えられた立命館での中国文学研究を通じて、「言葉の一つひとつを大切に」生き方へと鍛えられたのだ。その藤田さんのこだわりは、教員生活を貫き、聾学校で結実した。地下水脈のごとく流れていた「夢」は、一所懸命の第一の人生があったればこそ、「勇氣」を生み、ほとばしる情熱となって第二の人生で湧き出てきたのだ。笑顔もおだやかに話されるその瞳の輝きに、年齢を超えた青春を感じ、後輩として、羨ましい限りのインタビューでした。(あ)

＊本誌をつくるにあたり、毎回のことながら多くの方にご協力いただきます。様々にご活躍の皆さんに、原稿をお書きいただくにしろ、あるいは取材に応じていただくにしても、お忙しいのがわかっていただければ幸いです。内心とても恐縮します。しかしどなたも快く応じてくださるので嬉しい限りです。そしてとっても嬉しいのは、その皆さん方に「会報に載ったことで、ずっとご無沙汰だった友達からたくさんの反応がありました」と喜んでいただけること。『りつめい』をお届けするたびに、今回新しくかけ置かれる心の橋はいくつあるだろうかと思ひ巡らすことが、ささやかな楽しみであり、励みにもなっています。(寺)

『りつめい』にご登場いただける校友の方を募集しています。自薦・他薦を問いません。校友会事務局へご一報下さい。

りつめい No.206／年4回発行

発行所／立命館大学校友会

編集人／尾崎 敬則

発行人／河原 四郎

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

Tel. 075 (465) 8120・8124

Fax. 075 (465) 8125

http://www.ritsumei.ac.jp/kic/741/

I N F O R M A T I O N

校友会・グループ インフォメーション

校友会・グループ	日時	会場	問い合わせ先
佐賀県校友会総会&九州ブロック会議	10月 6日 (土) 15:30	ホテルニューオータニ佐賀	中島欣一 0952(23)8437
石川県校友会総会	10月 6日 (土) 16:00	金沢ニューグランドホテル	児玉弘毅 076(233)9691
千葉県校友会総会	10月13日 (土) 13:00	船橋グランドホテル	島田元泰 047(395)7604
金太ろスキ一同好会30周年記念OB大会	10月13日 (土) 13:00	京都全日空ホテル	両頭慎一 075(961)1331
愛知県衣笠会	10月19日 (金) 18:00	名鉄ニューグランドホテル	名川勲助 052(232)6033
立電会総会	10月26日 (金) 18:00	大阪弥生会館	鈴木惟弘 06(6446)1780
愛知県校友会 SUNDAY TALK& CONCERT 総会	10月28日 (日) 13:30 10月28日 (日) 17:20	愛知県芸術劇場大ホール 名古屋クレストンホテル	土田三次郎 052(916)1282 土田三次郎 052(916)1282
鳥取県東部校友会総会	11月 9日 (金) 18:00	白兔会館	山本二郎 0857(28)0767
全国校友大会	11月10日 (土) 17:30	都ホテル	校友会事務局 075(465)8120
茨城県校友会総会	11月11日 (日) 14:00	三の丸ホテル	木村幸夫 029(252)8401
福岡県校友会総会	11月16日 (金) 18:00	ホテルシーホーク	藤 厚久 092(574)2490
機友会総会	11月17日 (土) 14:00	BKCローム記念館	酒井達雄 077(561)2664
証券研究会OB会	11月17日 (土) 17:30	からすま京都ホテル	浦邊富美夫 0774(44)6239
宇部・小野田地区校友会総会	11月17日 (土) 18:00	堀辺旅館	森島正信 0836(41)9775
北九州校友会総会	11月22日 (木) 18:30	門司港ホテル	天野隆夫 093(332)3854
広島県東部校友会総会	11月23日 (祝) 16:00	福山ニューキャッスルホテル	後藤克公 0847(52)3555
宮城県校友会総会	11月30日 (金) 18:00	仙台ガーデンパレス	大沼久明 022(259)5511
東京校友会総会	12月 9日 (日) 13:00	虎ノ門パストラル	東京オフィス 03(5204)8611

校友消息 (判明分)

就 任

佐々江延宜氏 (‘62理工)

(株) 日本マタイ常務

中川良二氏 (‘64経済)

(株) キング常務

川上司郎氏 (‘66経済)

日立機電工業 (株) 常務

谷口俊彦氏 (‘69産社)

(株) ケイビー社長

中石隆文氏 (‘69産社)

日本空港ビルディング (株) 常務

村上健治氏 (‘70産社)

大和ハウス工業 (株) 専務

下村秀樹氏 (‘79経済)

ミサワホーム北日本 (株) 社長

訃 報

岡崎榮松氏

本学名誉教授・元経済学部

長。7月24日ご逝去。71歳。



校友会へご惠贈下さいました

本の中から紹介させていただきます。

◆ 堀田博史氏 (‘86経済) 著

『目指せ! ビジネススキルアップ』

表計算の活用 基礎から関

数までのガイドブック

ロータリービジネス*1905円

◆ 熊谷義彰氏 (‘96理工) 著

『まんじゅう』

文芸社 * 800円

◆ 典原五郎氏 (‘63文) 著

『王家の城』

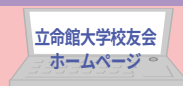
PHP 研究所 * 1500円

◆ 道上隆三氏 (‘61文) 著

『歌集 那由多』

短歌研究社 * 2500円

価格は本体価格です。



参照カウンタ10万人目のあなたにすてきなプレゼント!

旅行券・一流ホテル宿泊券・名料亭食事券などが当たります。詳しくはホームページ「校友会からのお知らせ」の7月14日付記事をご覧ください。http://www.ritsumei.ac.jp/kic/741/

立命館大学国際平和ミュージアム 特別展のご案内

■ 世界報道写真展2001 開催中

会期: 10月21日 (日) まで

10月9日 (火)、15日 (月) は休館

料金: 大人500円/中・高生250円/小学生150円

オランダに本部を置く世界報道写真財団が主催する「世界報道写真コンテスト」での入選作品を展示します。前年1年間に世界各地で起きた様々な出来事を記録した200点余の写真が、時代の証言としてリアルな感動を伝えます。

＊開館時間 9時30分～16時30分 (入館は16時まで)

＊両展とも、常設展もご覧いただけます。

＊お車でのご来館はご遠慮願います。

市バス15・50・51・55・59系統にて「立命館大学前」下車、徒歩5分

市バス204・205にて「わら天神前」下車、徒歩10分

■ ベトナム子ども絵画展

ベトナムの子どもたちが描く「せかい」

【同時開催】石川文洋のとらえたベトナム・フォードキュメント

会期: 10月26日 (金)～11月15日 (木)

料金: 大人300円/中・高生250円/小学生150円

◆ 記念講演会等も予定しております。お問い合わせ下さい。

ホーチミン市戦争証跡博物館に寄せられた子どもの絵の中から、平和や戦争、世界の友達などをテーマにした約200点の作品を展示します。ベトナムを繰り返るカメラマン石川文洋さんの人間味豊かな写真とともに、ベトナムのリアリティを感じ取って下さい。

【会場・問い合わせ先】

立命館大学国際平和ミュージアム

京都市北区等持院北町56-1

Tel. 075-465-8151